

# NewLogOSH -V1.0.55.0

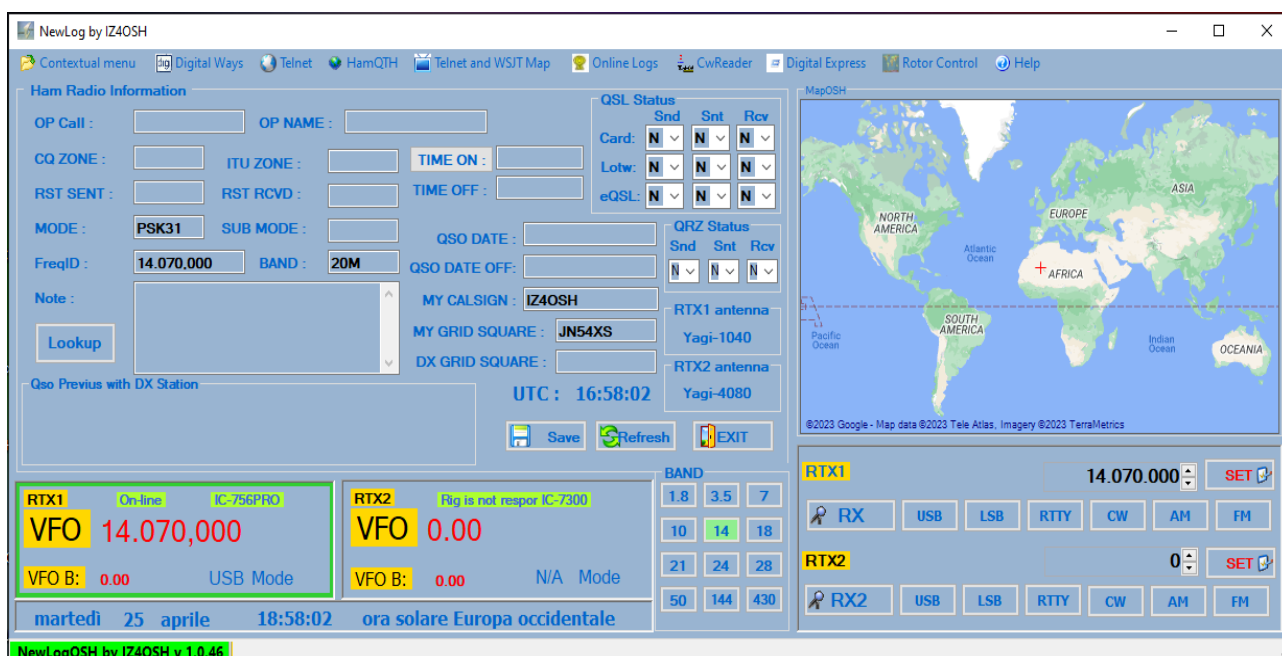
アマチュア無線用のプロフェッショナル ソフトウェア

NewLogOSH は、プロ仕様のアマチュア無線ロギング ソフトウェアであり、すべての Microsoft Windows プラットフォーム上で設計され、実行されます。ヒスタ/W7/W8/W10/W11。このソフトウェアは数年間開発中であり、作者 (IZ4OSH) はこのソフトウェアをアマチュア無線家自身が使用する目的でのみ無料で提供しています。

NewLogOSH は生まれたばかりのロギング ソフトウェアですが、DXCC、IOTA、WAZ などの完全なプレミアム モニタリングを備え、HF と VHF の両方で DX に明らかに重点を置いています。高品質の DX 録画ソフトウェアに期待されるすべての機能が含まれています….

このソフトウェアは、プログラムの機能を失うことなく、またいかなる種類の制限もなく、完全に無料でダウンロードして使用できます。元のファイルがすべて無傷で、いかなる変更も加えられていない限り、個人ベースで自由に配布でき、料金は発生しません。作者からの特別な許可がない限り、有料配布は禁止されています。

アレッサンドロ・アッツォリーニ、IZ4OSH  
NewLogOSH © 著作権、iz4osh 2020-2023



最初のバージョンが公開されてから 1年半が経過しましたが、この数か月の間に多くのことが変更され、開発は衰えることなく続いています。

現在、NewLogOSH はトップ ソフトウェアの頂点に位置しています。

ソフトウェアは、Vista/W7、W8、W10、W11 などのすべての Microsoft Windows プラットフォームでテストされています。

---

## 初めてのインストール

この仕様は、これまでソフトウェアをインストールしたことがない人を対象としています。

準備段階:

- 1) NewLogOSH をインストールする前に、Web サイトから必要なコンポーネントをダウンロードしていることを確認してください (NewLogOSH の最新バージョン、Omni-Rig V1.19、Digital Express)

注意: Omni-Rig 1.19 の正式バージョンを使用することが必須です。

## インストールプロセス

正しくインストールするには、この手順に注意深く従ってください。

1-Omni-Rig をインストールする

2-NewLogOSH をインストールします (C:\NewLogOSH\)

3-Digital Express をインストールします (C:\NewLogOSH\DigitalExpress\)

これらのインストールの最後に、インストールされたモジュールを正しく登録するために PC を再起動します。

注意: Windows の一部のバージョンでは、インストール後に NewLogOSH を管理者として起動する必要がある場合があります。

## 最初のセットアップ

モジュールにアクセスします ([セットアップ] メニューから [MyInformation])

オペレータのデータはこのパネルに入力する必要があり、すべてのフィールドが正しく入力されていない場合はプログラムが誤動作します。

次の指示に注意深く従ってください。

データ入力を有効にするには、右上 (新規追加) をクリックします。これが完了すると、データを入力できるようになります。最後に、「保存」ボタンをクリックします。

注意: LotW、Eqsl、HamQTH サービスを使用するには、これらのサービスに登録し、LoTW 証明書を使用できるようにする必要があります。

通常、LoTW フィールドのユーザー名とパスワードは、LoTW で ARRL プロファイルにアクセスするために使用されるものと同じです。同じことが HamQTH と Eqsl にも当てはまります。

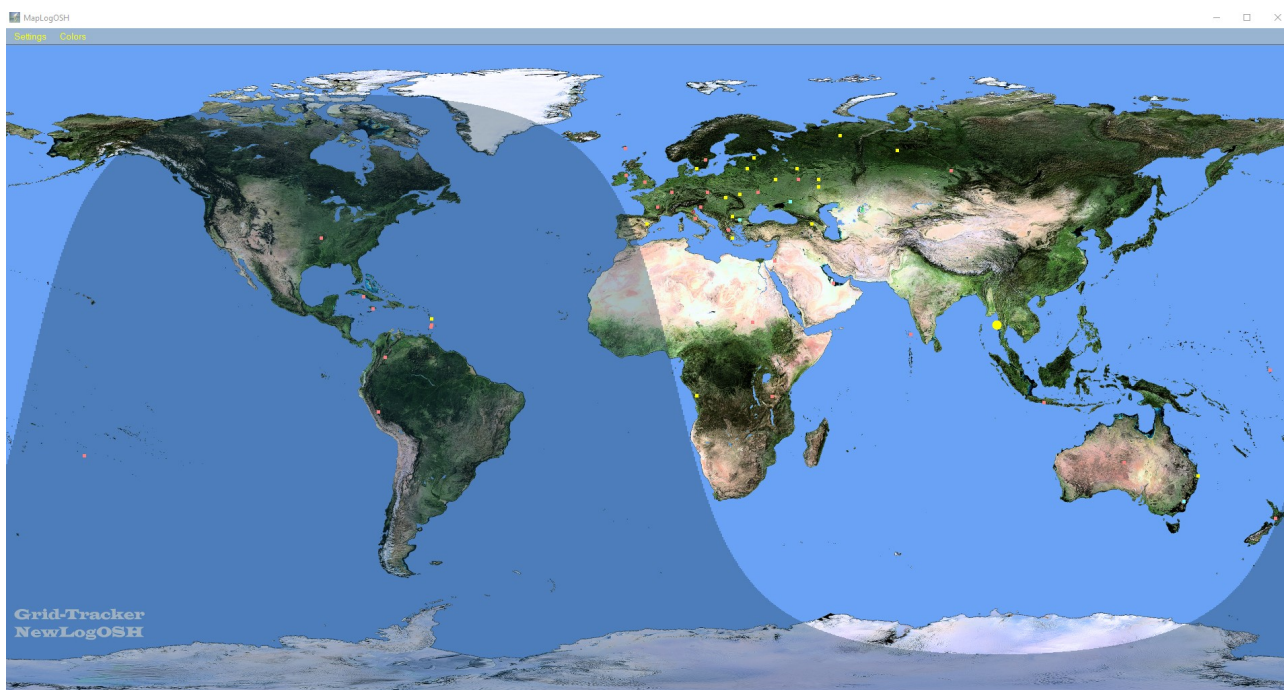
保存後にフォームへの入力完了すると、データが上のグリッドに移動します。これが完了すると、必ず左上 (アクティブ ID) にチェックを入れてください。

ロケーターを入力すると、経度と緯度がソフトウェアによって自動的に計算されます。

これで、NewLogOSH を閉じて再起動できます。

データが地図上に正しく入力されていれば、あなたの地域の正確な位置がわかります。

HamQTH データが入力されていないと dx ステーションデータをダウンロードすることが  
できません！

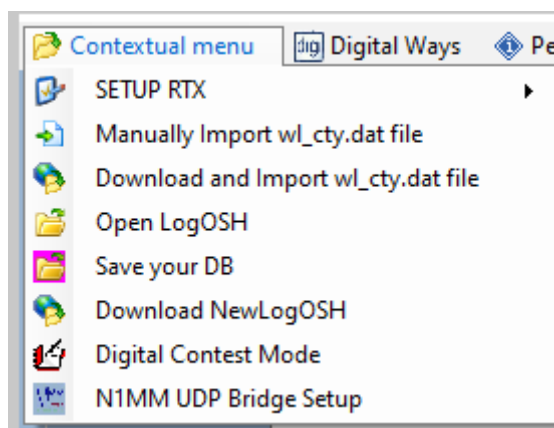


これでソフトウェアを使用する準備が整いました。

## コントロールパネルと機能



左から順に、コンテキスト メニュー、デジタル ウェイ、個人情報、バージョン情報、ヘルプ、Telnet、HamQTH、Telnet および Wsjt マップ、オンライン ログ、CwReader、Digital Express、ローター コントロールが表示されます。



RTX Omni-Rig 設定をセットアップします。Rig1 は rtx1 用、Rig2 は rtx2 用です。

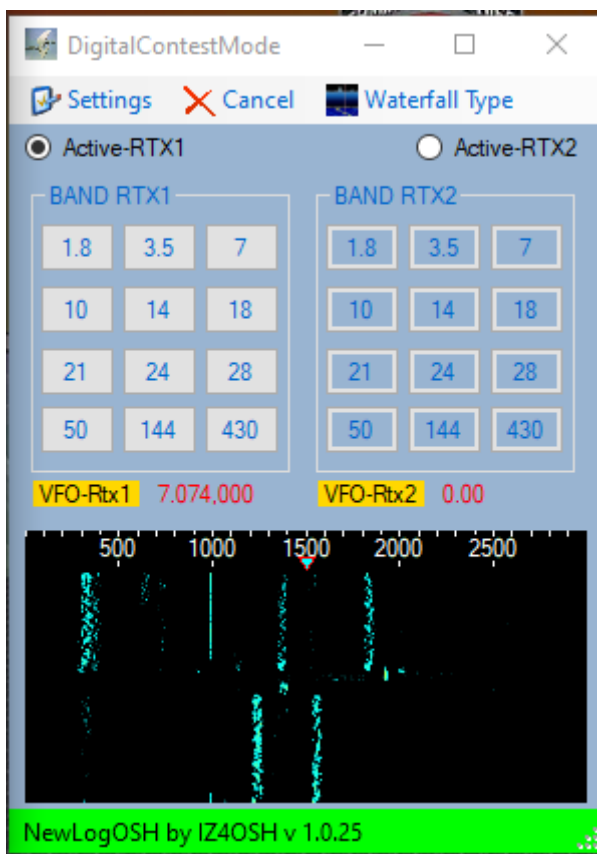
WL\_Cty.data ファイルは、カントリー ルーチンなどをスムーズに実行するためにダウンロードされるテキスト ファイルです。経験の浅い方には、「wl\_cty.dat ファイルのダウンロードとインポート」をクリックして、このダウンロードを自動的に実行することをお勧めします。

ログを開く (QSO が保存されているロガーを開く)

DB を保存: これは、レコードをインポートした後にデータベースを保存できる機能です。この機能は、レコードをエクスポートして再度インポートすることなくデータベースを保存する必要がある場合に非常に実用的です。DB を保存すると、MyInformation テーブルに入力されたデータも保存されます。新しいバージョンに更新がある場合は、DB をデスクトップに保存し、ソフトウェア更新を実行して、ファイル (Newlog.db) をプログラムのインストール ディレクトリにドラッグします。この操作には 2つの利点があります。1つは、PC に何かが起こった場合でも、ロガーのデータは失われないことです。2特に 50,000 QSO を超える数字を見つけた場合は、レコードをインポートするのに時間を無駄にする必要はありません)

NewLogOSH をダウンロードします (ここで、インストールされているプログラムのより新しいバージョンがオンラインで入手可能かどうかを確認できます。

## デジタルコンテストモード

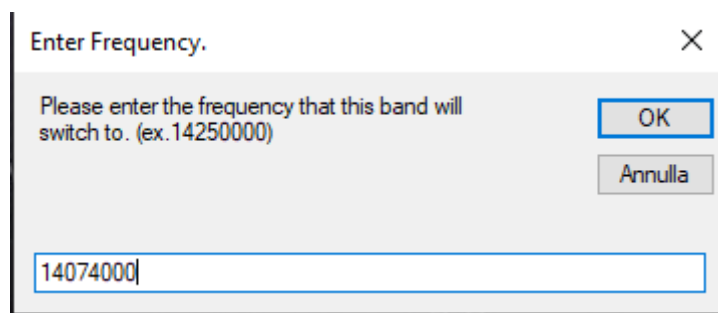


この機能を有効にするには、この機能を開いた後、「設定」をクリックして入力オーディオを選択します。

フラグを設定します (アクティブ rtx1 または アクティブ rtx2 は、送信を行う必要がある RTX にフォーカスを設定します)。 Band RTX は、コンテスト セッションの例のバンドを記憶するために使用されます (FT8 や FT4 などのデジタル モードのバンドの部分は、通常の日常操作とは異なります)。これにより、特に 2つの RTX が使用されている場合、スイッチング速度が簡素化されます。例 (FT8 には RTX1、FT4 には RTX2) 同様のことが、CW、RTTY、PSK の一部のコンテストで発生します。このパネルは、上記のように帯域幅の部分を記憶することにより、日常の操作でも使用できます。

## バンドを覚える

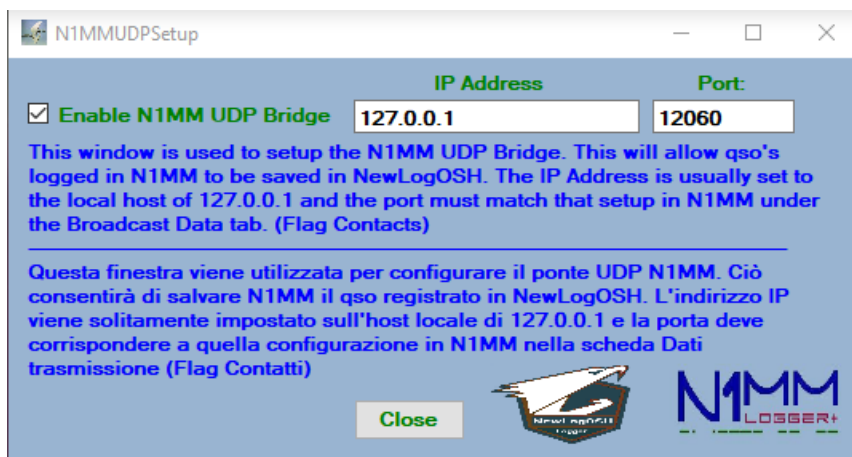
マウス ポインタをボタンの上に置き、マウスの右ボタンをクリックすると、ウィンドウが開き、バンドの該当部分が挿入されます。



例として、図に示すように 20m 書き込みの部分を記憶したい場合、この時点で [OK] をクリックするとバンドが記憶されます。

同じ操作は、RTX コマンドが配置されているメイン パネルでも行われます。

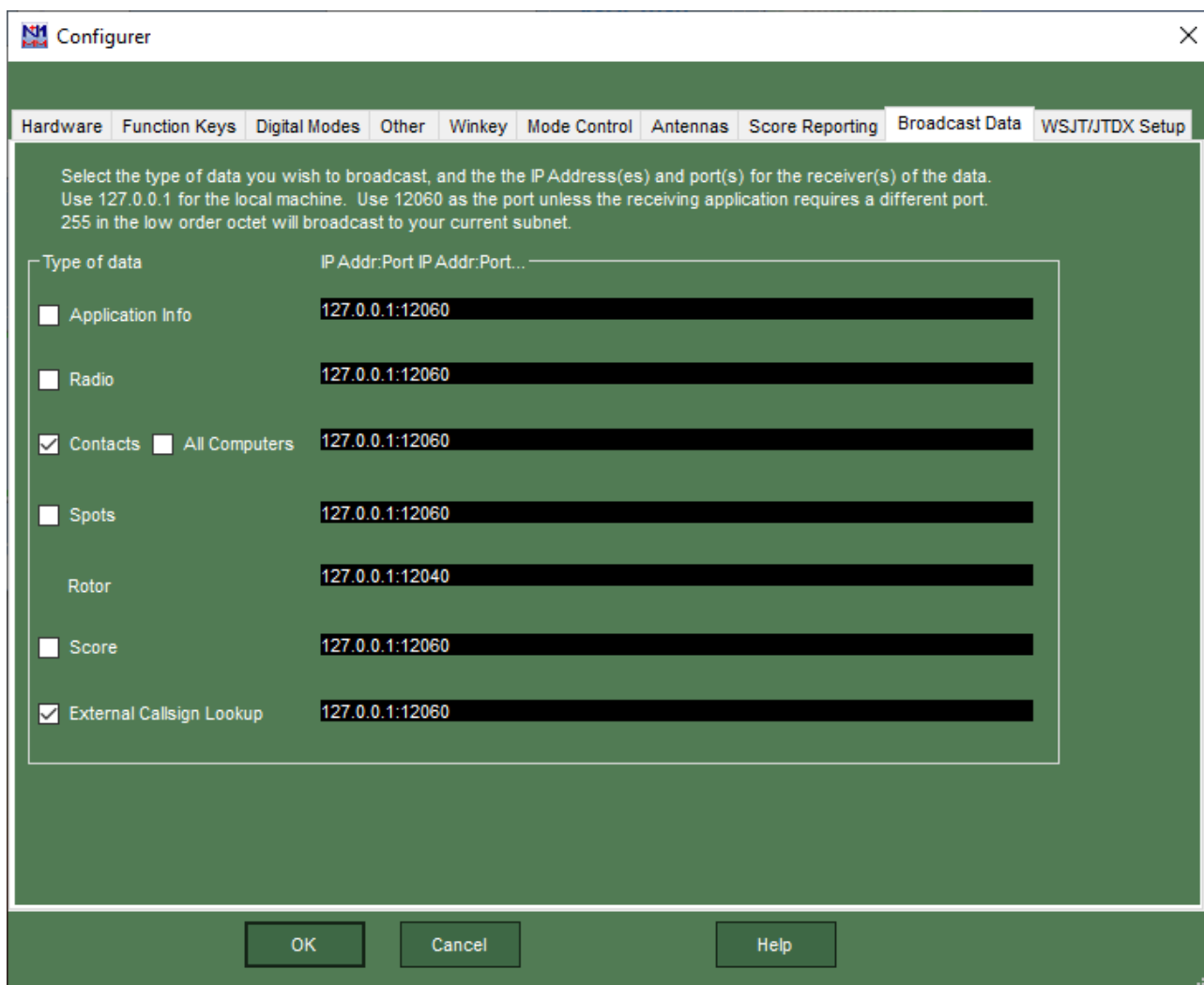
## N1MMブリッジのセットアップ



この機能を使用すると、n1mm のすべての機能を使用し、レコードを NewLogOSH Logger に直接記録できます。例 (コンテストセッション中に、登録された各連絡先がデータベースに送信されます) デジタル、CW、RTTY などのすべての操作。この機能は、さまざまなモードでの毎日の操作でもテストされており、すべてがエラーなく正常に動作します。



N1MM 側を設定するには、トップメニューの [Config] を開き、[Broadcast Data] をクリックします。



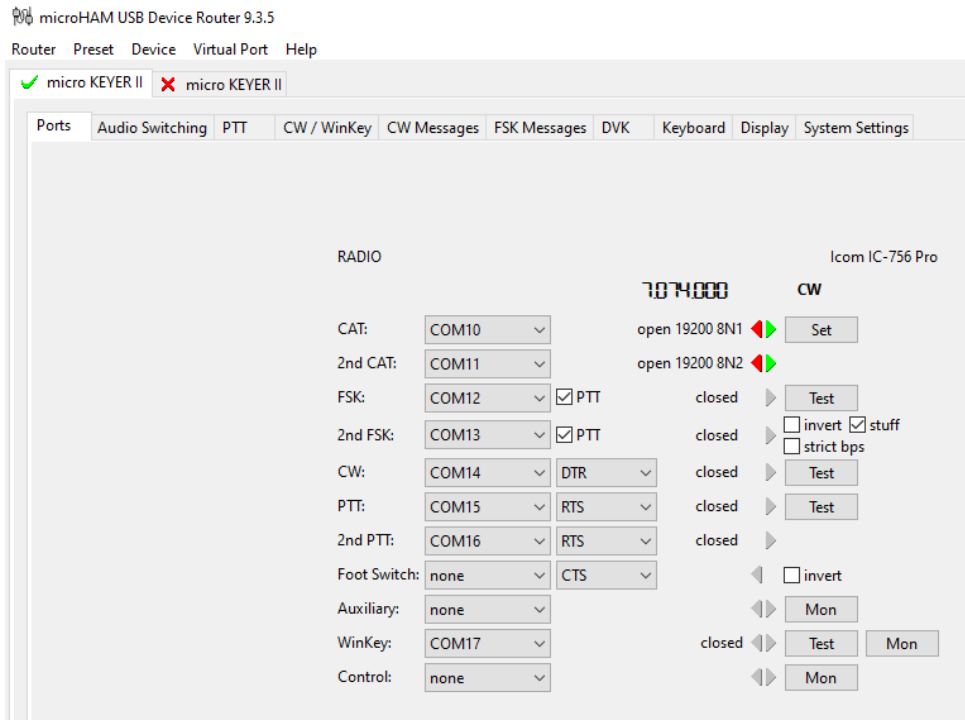
ここで「連絡先」にフラグを設定し、「OK」をクリックします。

CAT の構成。

このオプションを実行するには 2 つの方法があります。NewLogOSH と N1MM は、使用するインターフェイスの種類によって異なります。

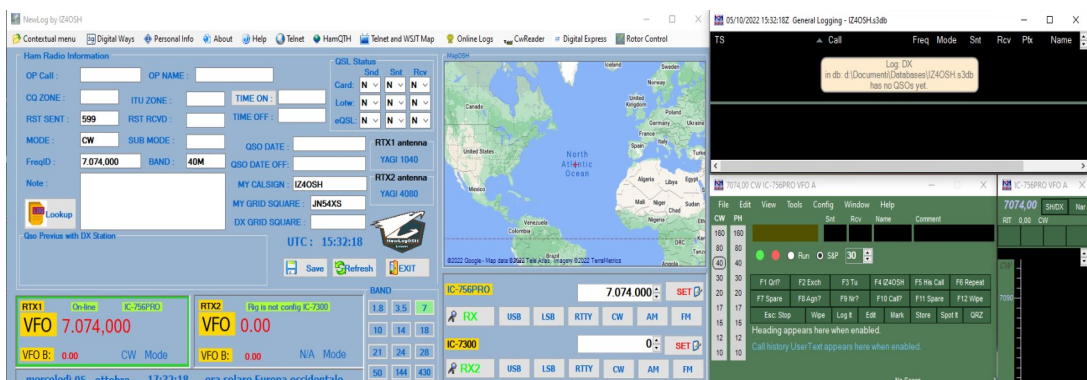
オプション 1: 2 つ以上のデータ通信 CAT をサポートするすべてのインターフェイスの例 (Micro Keyer 2/3)

写真からわかるように、使用するソフトウェアに応じて、RTX からディストリビューションまでの2つのデータ通信ポートがあります。例 (COM10 RTX1、COM11 RTX1) これは、同じ RTX が 2つの異なるロガーに接続され、各機能を自律的に管理することを意味します。この場合、COM10 は NewLogOSH 用に構成され、COM11 は N1mm 用に構成されます。バンドまたはモードの変更操作が行われるたびに、2つのロガーは誤差の余地なく相互に追従します。



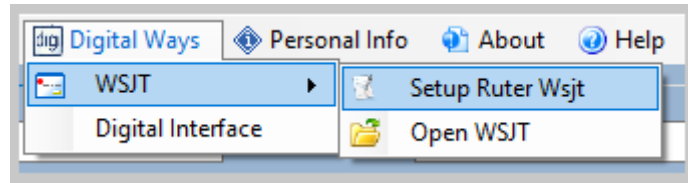
オプション 2 (このオプションは、1つの通信ポートまたは単純なホーム インターフェイスのみを使用するユーザーに使用されます) このオプションを使用すると、n1mm で通信ポートを構成するだけで十分です。これを行うと、2つのロガーが開始されると、N1mm が管理します。NewLogOSH は、ステーションに送信されるデータに関するログです。

構成オプション 1 を使用した下の図

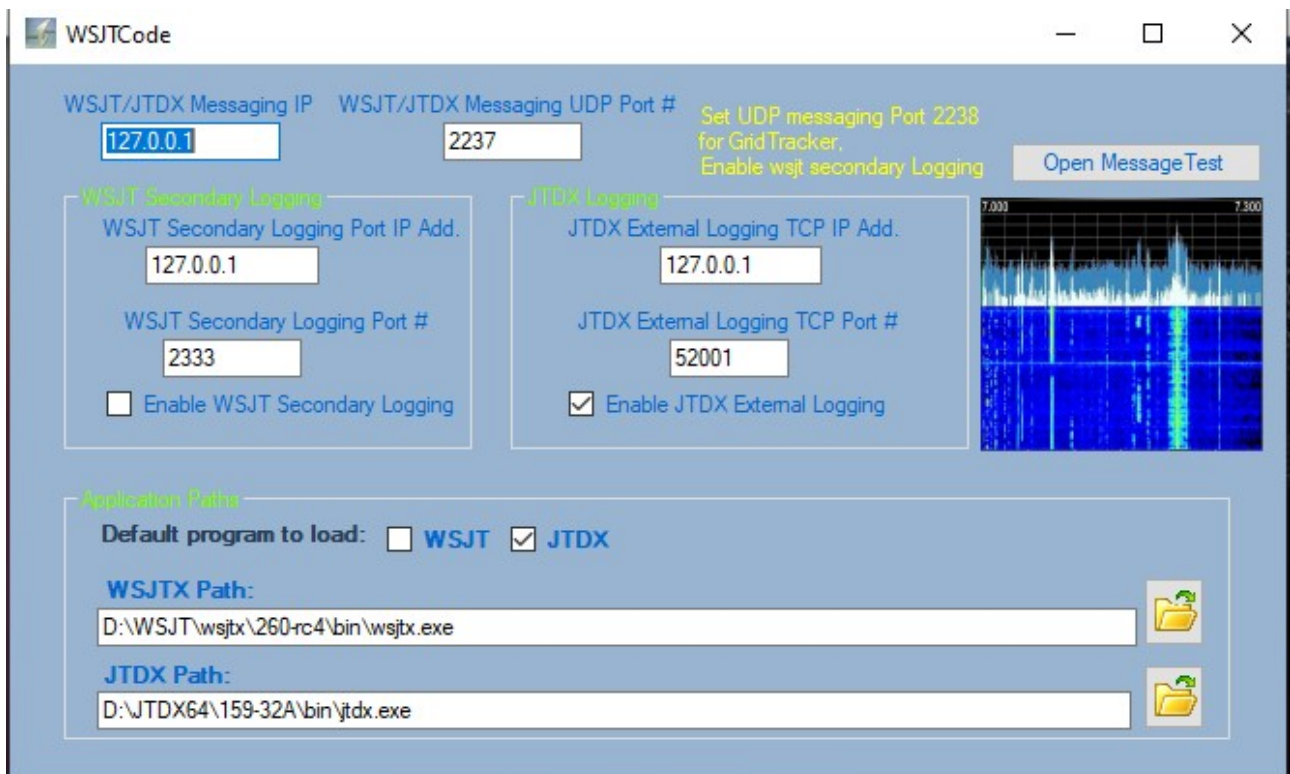




## デジタル的な方法



ここで、デジタル モード FT8 FT4 を設定することができます。その方法を見てみましょう: Setup Ruter Wsjt 項目をクリックすると、パネルが開きますので、正しく入力する必要があります。



写真からわかるように、これは WSJT または JTDX を実行できる正しい構成です。設定操作を実行する場合、これらの設定はレジストリ ファイルに記録する必要があるため、必ず NewLogOSH を再起動してください。

## WSJT 側の設定

Impostazioni ? X

Generale Radio Audio Tx Macros Segnalazione Frequenze Colori Avanzato

Rig: OmniRig Rig 1 Intervallo di Interrogazione: 1 s

Controllo CAT

Porta Seriale: [ ]

Parametri Porta Seriale

Baud Rate: 4800

Bit di dati

Predefinito  Sette  Otto

Bits di Stop

Predefinito  Uno  Due

Handshake

Predefinito  Nessuno  
 XON/XOFF  Hardware

Forza Linee di controllo

DTR: [ ] RTS: [ ]

Metodo PTT

VOX  DTR  
 CAT  RTS

Porta: COM10

Trasmettere la sorgente audio

Rear/Data  Front/Mic

Modo

Nessuno  USB  Data/Pkt

Operazione in Split

Nessuno  Rig  Fai finta

Test CAT Prova-PTT

OK Annulla

写真に示すように、どの Omni-Rig チャンネルが RTX1 または 2 に設定されているかに従って無線を設定する必要があります。

Generale Radio Audio Tx Macros **Segnalazione** Frequenze Colori Avanzato

Registrazione

Avvisami di registrare il QSO Nominativo Op:

Registra automaticamente (solo in contest)

Convertire la modalità in RTTY

Riporta dB nei commenti

Cancella chiamata DX e la griglia dopo la registrazione

Servizi di rete

Abilita rilevamento PSK Reporter  Usa la connessione TCP/IP

UDP Server

UDP Server:   Accetta richieste UDP

Porta del Server UDP:   Notifica su richiesta UDP accettata

Finestra di ripristino richieste UDP accettate

Server UDP Secondario (obsoleto)

Abilita trasmissione ADIF del contatto registrato

Server name or IP address:

Numero porta Server:

UDPブリッジの設定は写真のような設定を行ってください。

同じ設定を JTDX でも実行する必要があります

RTX: OmniRig Rig 1 Intervallo verifica: 1 s  Accendi  Spengi  S meter  Potenza d'usc

**Controllo del CAT (interfaccia della Radio):**

Porta serale:

**Parametri della Porta Seriale:**

Baud Rate: 4800

**Bits di Dati:**

Predefinito  Sette  Otto

**Bits di Stop:**

Predefinito  Uno  Due

**Handshake:**

Predefinito  Nessuno  
 XON/XOFF  Hardware

**Forza le linee di controllo:**

DTR:  RTS:

**Metodo per PTT:**

VOX  DTR  
 CAT  RTS

Porta: COM10

Condividi la porta del PTT

**Sorgente audio per trasmissione:**

Presa dati posteriore  Micro Frontale

**Modo:**

Nessuno  USB  Pkt/Data

**Operazione in Split:**

Nessuno  RTX  Finto Split

Testa il CAT

Testa il PTT

Ritardo per il Tx: 0,1 s

**Registrazione log:**

- Richiedimi di loggare il OSO
- Messa a log automatica del OSO
- Converti il modo in RTTY
- Rapporto dB nel commento
- Distanza nei commenti
- Cancella i dati dopo aver loggato il OSO
- Cancella il Nom DX e la Gridlia all'uscita

**Invia file ADIF del QSO per il log:**

Server TCP: 127.0.0.1  
 Porta TCP: 52001  
 Abilita l'invio al server TCP  
 Server UDP2: 127.0.0.1  
 Porta UDP: 2333  
 Abilita l'invio al server UDP secondario

**Registrazione su ALL.TXT:**

- Messaggi decodificati
- Messaggi decodificati e di debug

**Servizi di Rete:**

Abilita l'invio a eQSL

Abilita lo spotting su PSK Reporter

Abilita lo spotting su DXSummit

Nome Utente:

Password:

Nickname su QTH:

**Server UDP primario:**

Server UDP: 127.0.0.1  Accetta richieste UDP  
 Numero porta del server UDP: 2237  Notifica dell'accettazione della richiesta UDP  
 Finestra di rioristino richieste UDP accettate

- Abilita l'invio del file ADIF per il log
- Prevenire l'individuazione di messaggi con nominativi non confermati tramite UDP
- Applica filtri di testo alla trasmissione dei messaggi UDP

Conferma Cancell



# テルネット

DX Cluster for NewLog by IZ4OSH

Setting Spot Cancell Griglia Post DX Spot Announcement

Spots TelnetOSH Window

Color Status: [Color indicators]

Call sign DX	Frequency	Comment	DXCC	Spotter	Time	Mode
IQ5QO/P	14180.0	FF-2269 Grazie Stef	I	DL2IAJ	703Z I	SSB
LUSFF	50313.0	OS0UF<TEP>FF99RF FT8 -8dB tn	LU	DK2EA	703Z J	FT8
TI4BR1	14016.2	nrx QSO	I	ROAF	702Z t	CW
VU7W	18109.3	T8 big signal	VU7	F5MYH	702Z F	SSB
EI7BA	50313.0	John calling -5 dB 2578 Hz	EI	EI2IP	1703Z	FT8
V53SIX/B	50494.8	JM70CU<TR>JG77II 599 qsb	V5	IK8PGQ	1703Z	SSB

AE5E 25-Apr-2023 15Z SFI=134 A=76 K=3 Connected to IK4ICZ-6

Telnet connected to NewLogOSH

DX Cluster for NewLog by IZ4OSH

Setting Spot Post DX Spot Announcement

Spots TelnetOSH Window

isconne

```

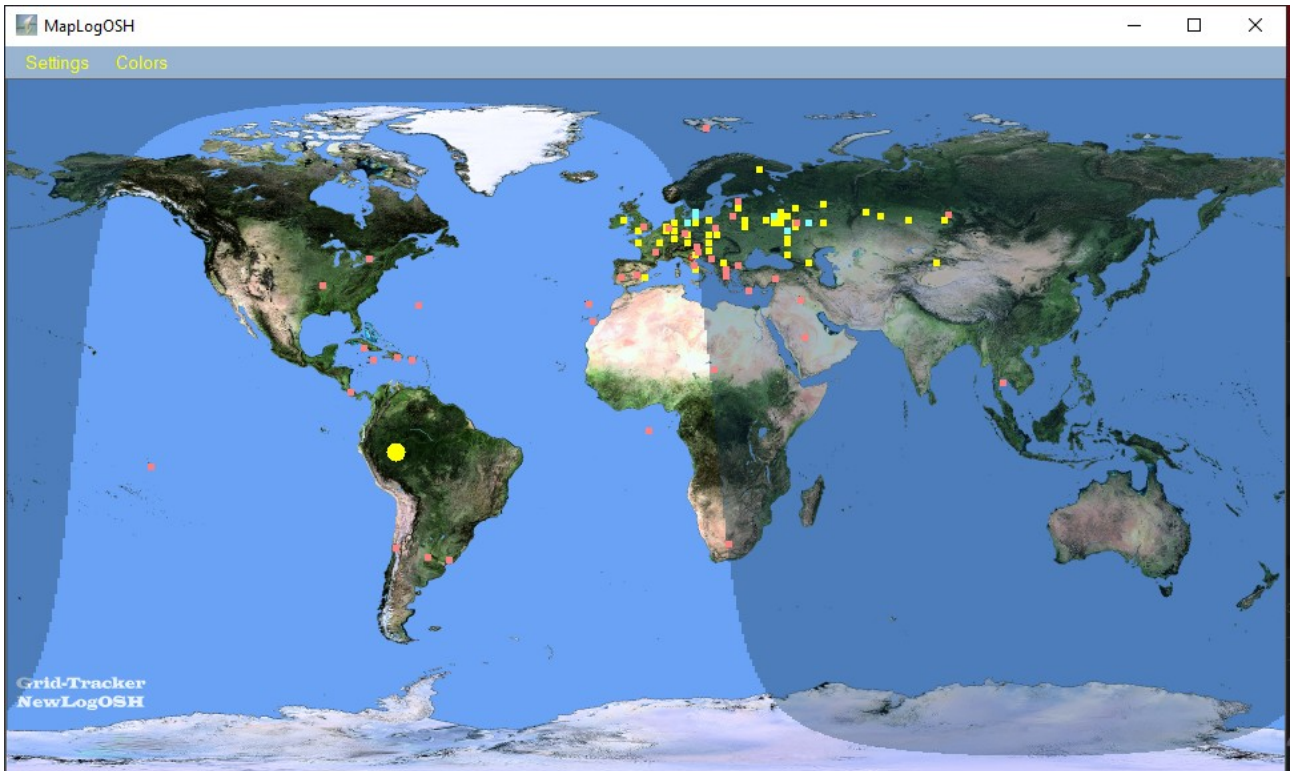
DX de RK6FO: 7103.0 R3FO 1614Z
DX de RX3QFY: 7103.3 UA9AGZ Shoigu - gandon! 1614Z
DX de SV2HLW: 10136.0 UA3PY FT8 -09dB 768Hz 1615Z
DX de RX3QFY: 10136.4 RV3DAF Na hochu myasom na voinu! 1615Z
DX de EA2CYC: 7140.0 EH5DCV EH5DCV comunidad valenciana 1615Z
    
```

Bye Conn di/n sh/dx Users www Clear dx Nodx mycall

Connected to AI9T

Telnet connected to NewLogOSH

Telnet が稼働中になると、DX ステーションが配置されている正確なスポットを示す地図が表示されます。





赤い点は Telnet から到着するデータ、黄色の点は WSJT または JTDX から到着するデータ、青い点はロガー内にすでに存在するステーション (現在いるバンドの二重ステーション) です。

マップの [カラー] メニューから、ポイントの色をカスタマイズできます。 [設定] メニューから、赤道線、日時計などの他の機能を有効にすることができます。

## ハム QTH

トップメニューの「HamQTH」をクリックすると、Web サイトに直接アクセスでき、ログイン後、興味のある放送局を調査することができます。

## Telnet と WSJTMap

閉じたときにマップが開きます。

注意: マップまたは他のウィンドウの位置を記憶するには、フォームを配置した後、右上隅の [X] をクリックしてウィンドウを閉じます。この方法で位置が記憶され、その後同じウィンドウを再起動すると、そのウィンドウが開きます。記憶された位置。(これは、WSJT デコーダー リストと構成ウィンドウを除くすべてのプロジェクト ウィンドウに適用されます)。

## オンラインログ

オンラインログは Lotw,Eqsl を意味します。どのような構成を実行する必要があるかを見てみましょう。

## LoTtw

Lotw Upload/Download

**Lotw Upload**  
TQSL Station Location: Migliaro - IZ4OSH  
Create Lotw Export File in NewLogOSH And Upload to LOTW  
Upload ADIF file to LOTW  
ADIF File TO UPLOAD  
Process And Upload LOTW

**LOTW DOWNLOAD**  
Calsign For Download: IZ4OSH  
Date Of Last Download: mercoledì 5 ottobre 2022  
Download LOTW QSL Information And Sync Into NewLogOSH  
 Manual update of logbook records to match LOTW sync records.  
 Automatic update of logbook records to match LOTW sync records  
Notice: A lot of the data returned in the LOTW sync files has been entered by users and has not been verified. A lot of this data can be wrong. When importing LOTW sync data be careful how you sync this data. Mistakes in your logbook can happen and can cause problems later on.

**LOTW Setup**  
PRIVATE KEY (IF USED)  
Directory to save Download LOTW Report: D:\NewLogOSH\Lotw-Download  
Path to TQSL\_EXE: D:\Program Files (x86)\TrustedQSL\tqsl.exe  
LOTW Callsigns: IZ4OSH  
Disattiva il controllo dei QSO  
Doppi per il prossimo caricamento su LOTW  
Turn off dupe checking for next upload to LOTW  
Contrassegna (Snd-Y) a tutti i nuovi qso registrati in WSJT/JTDX da inviare a LOTW.  
Mark all new logged qso's to send to LOTW.  
Tqsl - v2.6.0

**THE ARRL LOGBOOK OF THE WORLD**

Avviso: molti dei dati restituiti nei file di sincronizzazione LOTW sono stati inseriti dagli utenti e non sono stati verificati. Molti di questi dati possono essere errati. Quando si importano i dati di sincronizzazione LOTW, fare attenzione a come sincronizzare questi dati. Gli errori nel tuo diario di bordo possono verificarsi e possono causare problemi in seguito.

Lotw ウィンドウを初めて開くときは、次の 3 つのを行う必要があります。

1 NewLogOSH がインストールされたディレクトリ内にある LotW ダウンロード ディレクトリを選択します。LotW レポートはその場所に保存されます。これは、グリッド cqzone ituzone などの問題がある場合に入力レコードを表示できるようにするために使用されます。

2 TQSL.exe がインストールされているディレクトリを選択します (レコードを Lotw に送信すると、これらのレコードは ARRL Lotw によって送信された独自の証明書によって署名されます。証明書がないとレコードを送信できません)。

3 Lotw Callsigns に自分のコールサインを表示します

注意: NewLogOSH は ARRL によって認識されたロガーです

Web アドレスを参照してください: <https://lotw.arrl.org/lotw-help/submitloggingapp/>

#### データ送信機能:

ログに 1 つ以上の QSO を記録すると、レコード送信フラグが自動的に入力されることがわかります。この時点でレコードを送信するには、Lotw アップロード/ダウンロードを開き、NewLogOSH で Lotw エクスポート ファイルの作成をクリックし、Lotw にアップロードします。アクティブなフラグを持つすべてのレコードが送信され、送信日がログに表示されます。

レコードをダウンロードして、ログ内のレコードと同期するには、次の手順に従います。日付を選択し、[たくさんの QSL 情報をダウンロードして NewLogOSH に同期] をクリックします。

この時点で、レコードがダウンロードされて同期されるまで待ちます。同期時間は、ダウンロードするレコードの数によって異なります。この操作が終了すると、フォームを閉じることができるようになります。

## EQSL

EQSL Upload/Download

**eQSL Download**  
Date of Last Download: 05/10/2022  
Download from eQsl and sync in log.

**eQSL Upload**  
Create eQSL export and Upload to eQSL  
ADIF file to upload: Not Set  
Upload

**eQSL Setup**  
eQSL Station Callsign: IZ4OSH  
QTH Nick Name: None Set  
Directory to save downloaded eQSL Reports: Not Set  
Open  
 Mark all qso's to be upload to eQSL

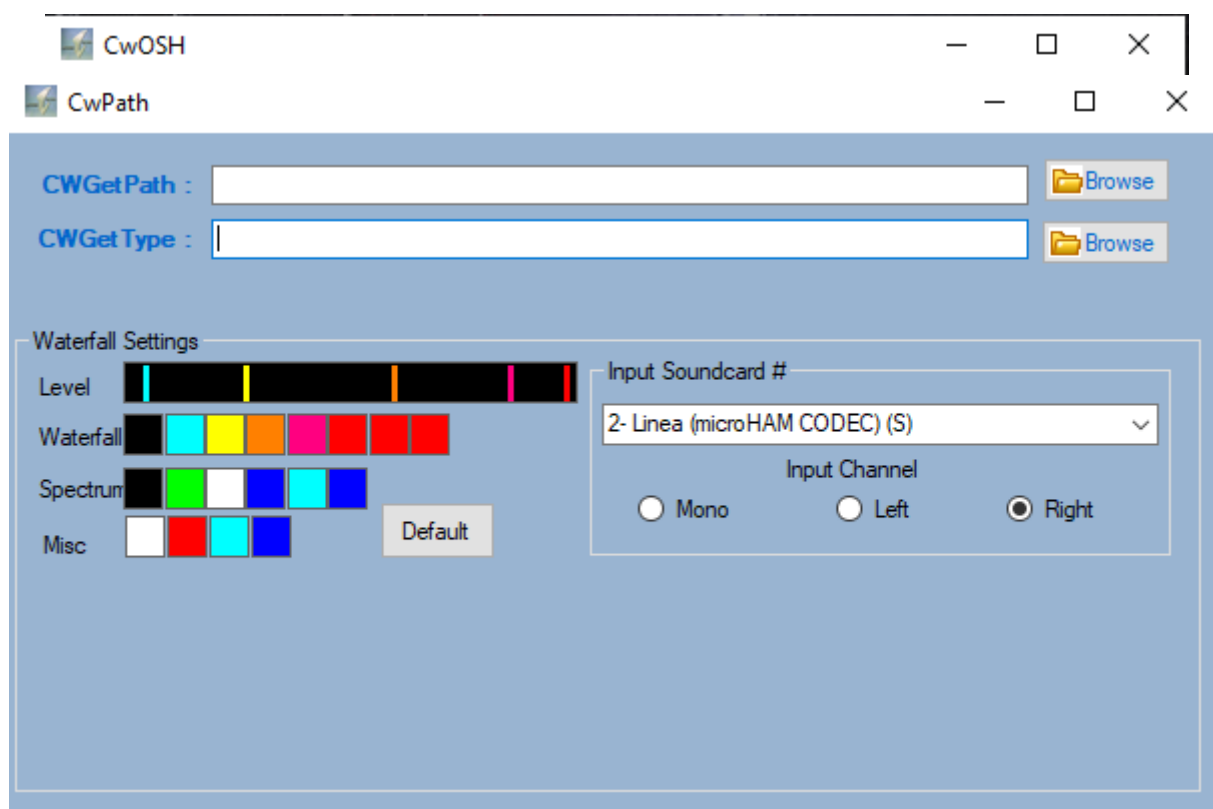
**QTH Nickname Setup**  
Enter all of the QTH Nicknames that you use with this account on eQSL  
(+) To add names  
(-) To remove names

MyInformation フォームのデータが正しく入力されている場合、1つ以上の QSO を登録した後、EQSL アップロード/ダウンロードを開き、eQSL エクスポートの作成と eQSL へのアップロードをクリックすると、この時点で登録されているすべてのレコードが eQSL に送信されます。注意: インポートするときは、

他のロガーからのレコード プログラムは、連絡先のエクスポートにフラグを追加するかどうかを尋ねます。以前にインポートされた連絡先がすでに EQSL に送信されている場合は、フラグに「いいえ」を指定する必要があります。EQSL は、レコードを複製する試みを拒否します。したがって、レコードがデータベースに存在するため、エラー警告が表示されます。

利用可能なレコードをダウンロードするには [eQSL からダウンロードしてログを同期] をクリックします。この時点で、同期に使用できるすべてのレコードがダウンロードされます。同期が完了するまで待ちます。これが完了したら、フォームを閉じることができます。

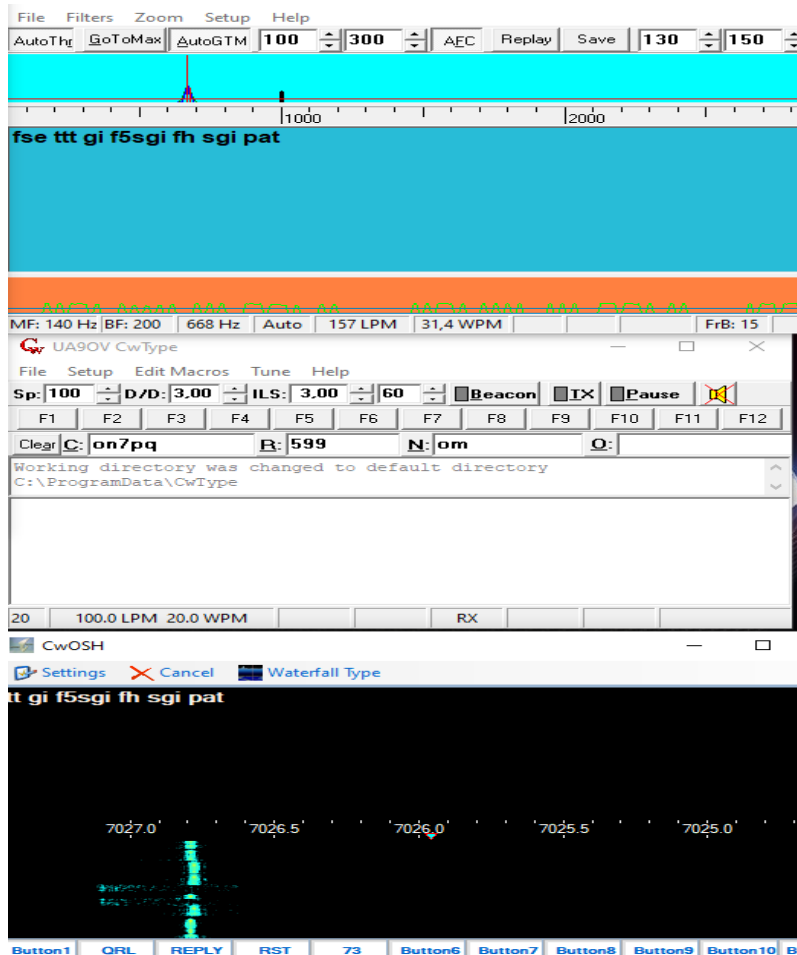
## Cw リーダー



このオプションを機能させるには、2つの外部プログラム (CwGet と CWType) をインストールする必要があります。

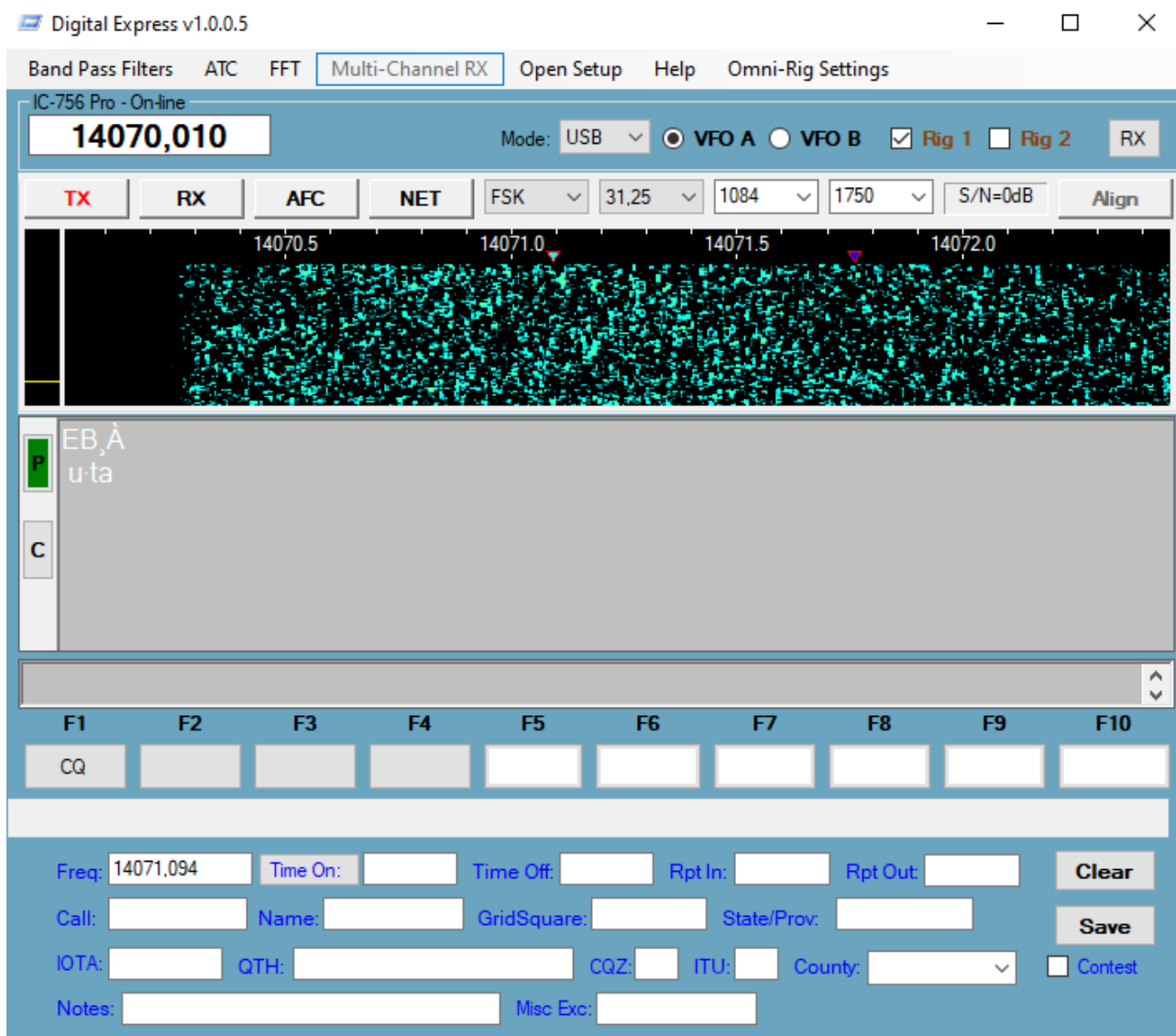
CwPath パネルでパスを設定した後、入力オーディオ (入力サウンドカード) を選択します。  
この時点で、CwPath と CwOSH を閉じ、CWReader メイン パネルをクリックしてプロセスを再開します。

再起動すると、このような状況が表示されます。



このプログラムは CW を古典的なパレットなどに置き換えるものではありませんが、多くのギャップを埋める必要がある人々が電信士の世界を理解するのに役立ちます。コンテストの運営や dx 局との QSO では、初心者が点と点が何であるかを理解するのに役立ちます。

## デジタルエクスプレス



Digital Express は、MMVARI PSK31 およびその他のデジタル モードの機能を実装するプログラムです。コンテスト運営のための独立したデータベースが含まれています。内部には、その操作と実行される設定についての広範な説明が記載されています。マクロは、ボタンを右クリックすると開くパネルからプログラムされます。

	CQ	Button2	Button3	Button4	Button5	Button6	Button7	Button8	Button9	Button10
<b>Shift-Down</b>	Button11	Button12	Button13	Button14	Button15	Button16	Button17	Button18	Button19	Button20
<b>Ctrl-Down</b>	Button21	Button22	Button23	Button24	Button25	Button26	Button27	Button28	Button29	Button30

Caption:  Macro String:

**1. Select Button to edit.**  
**2. Enter caption.**  
**3. Edit Button Message**  
**4. Save**

**Macro Substitutions**

<TX>  
 <RX>  
 <CR>  
 <MYCALL>  
 <MYNAME>  
 <MYGRID>

Button Forecolor  Button Backcolor

Clear Save

**Colors and Font's**

**RX Window**

Window Font:  Set

Back Color:  Detected Call Color:   Color Foreground

Text Color:  MyCall Color:   Color Background

**TX Window**

Window Font:  Set

Form Backcolor:

**My Information**

My Call:   
 My Name:   
 My GridSquare:   
 My CQ Zone:   
 My IOTA:   
 My State:   
 My County:   
 My QTH:   
 My ITU Zone:   
 MySTX String:

The above information will be added to your qso records and be used in Macro Strings.

**Logging**

Default sent RST:

When logging a qso the qso record is saved to the local database and also can be:  
 A. Saved to a text file in adif format.  
 B. Sent to another logging program via a TCP port.  
 What method should be used?

Text File  TCP Port  None

Text File

Path to Text File:  Browse

TCP Port

Address:

Port #:

**Contest Logging**

Is Zone Contest?  Use ESM Mode ESM Color:

Is Section Contest?  Use Rt Click as Return not menu in RX Window

Is Serial Contest?  Enable Sent NR Starting #:

What field should be used when logging the Misc. Exchange Field?

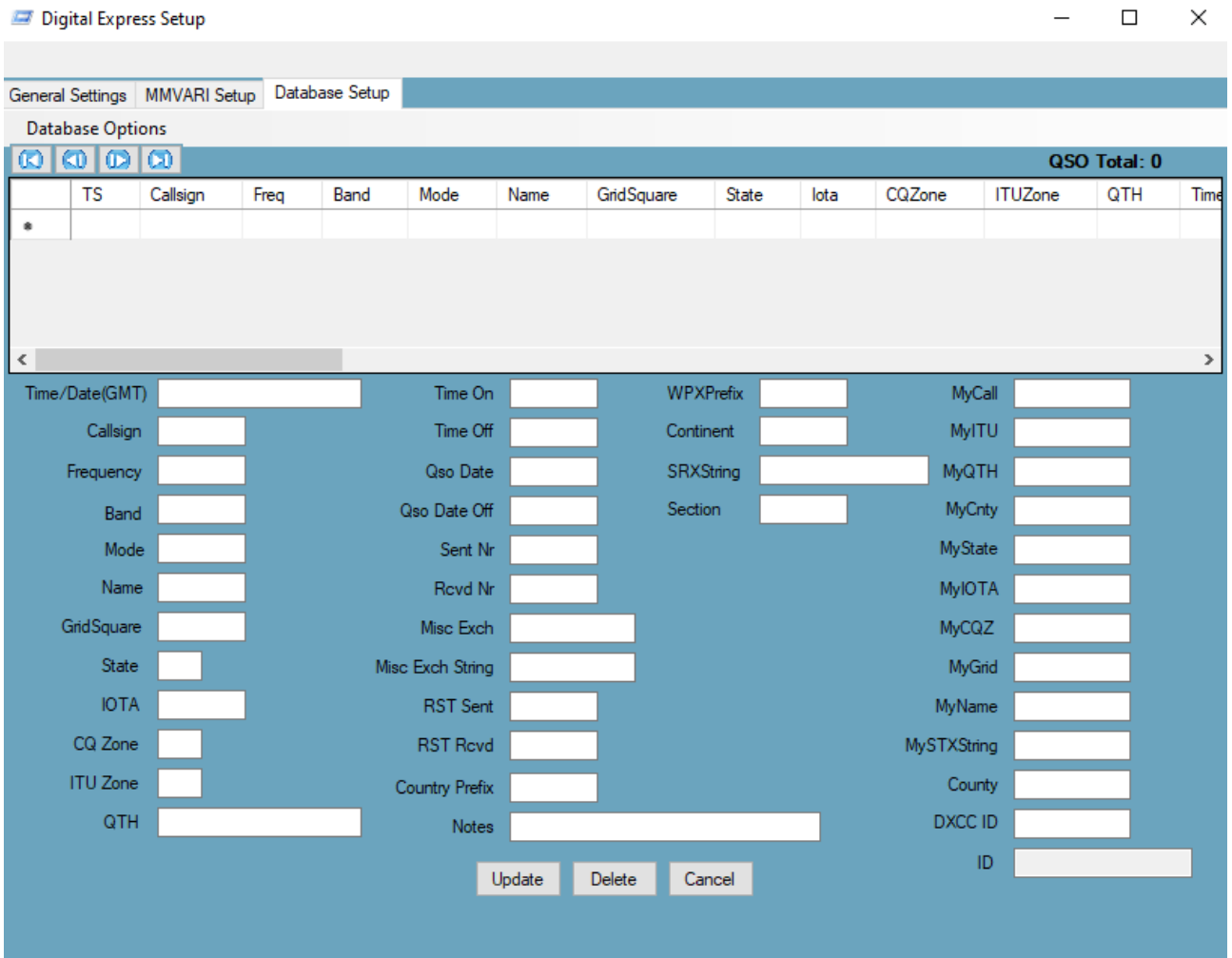
**Dupe Checking**

None  
 Once per Contest  
 Once per Mode  
 Once per Band  
 Once per Band and Mode

**Contest Entry Window Layout**

Call Exch In Exch Out State  Not Used  Not Used  Not Used





Digital Express は高品質のプログラムなので、その機能をよく知る必要があります。そのためには、すべての機能を使用してテストする必要があります。ベータ テスターは熱心で、RTTY コンテストのいくつかのセッションでテストされており、すべてのプロセスが正しく動作しています。私はアドバイスします。

## ローター制御



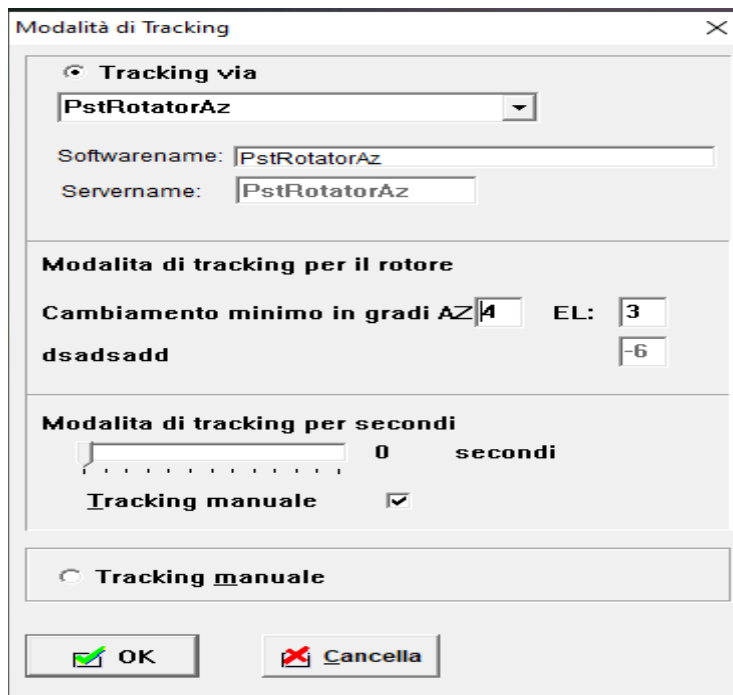
ローター コントロールは、ローターのコントロール ボックスに接続されたコントロール インターフェイスを通じてアンテナを回転できるようにするコントロールです。このセッ トアップは Yaesu G1000DXC では機能しますが、テストする機会がなかった他のロー ターでも機能します。このセットアップが機能するには、次のコンポーネントが必要です。

1 FUNBOX WINROTOR PLUS インターフェイスおよび制御ソフトウェア。



オプションメニューでトラッキングモードを選択します

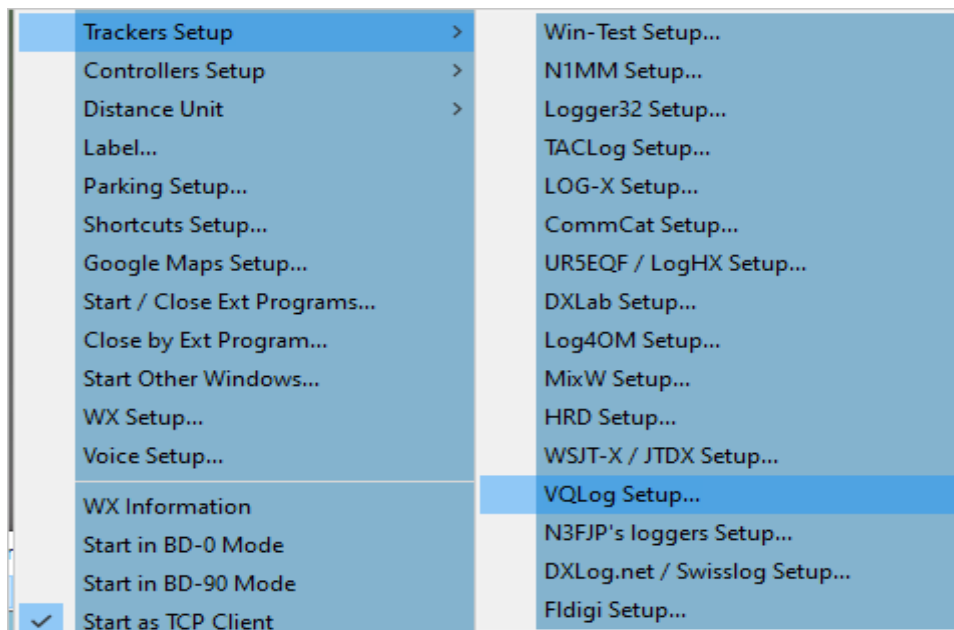
次に、PstRotatorAZ を選択します



## PstRotatorAZ 構成

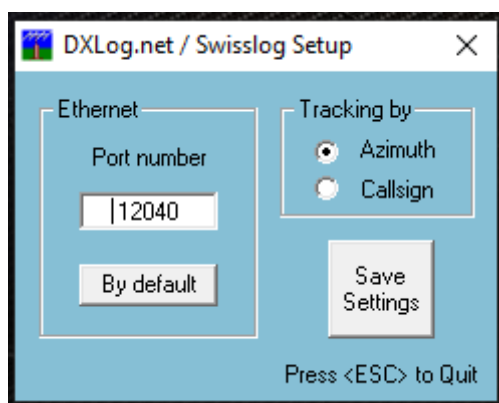


セットアップを開き、Trackers Setup に移動して DXLOG.Net を選択します。

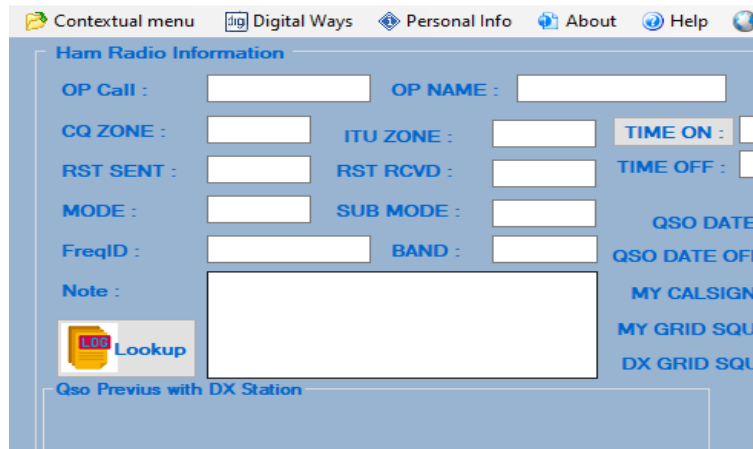


次のようなウィンドウが開きます。

次に、Azimuth 項目に Flag を設定し、保存して閉じるをクリックします。



TCP クライアント用のプログラムを準備します。うまくいけば、PsTRotator と WinRotor PLUS が相互に通信します。この時点で、Rotor Control を開き、NewLogOSH メイン パネルに呼び出し Call を書き込みます。



続いて LooKup をクリックすると、方位角ボックスに入力することで緯度と経度のデータがローター コントロールに送信され、スタート ボタンをクリックするとデータが 2 つのコントローラーに送信され、アンテナは方向の方向に位置決めされます。方位角ボックス。

右側のステーションの緯度と経度のコントロールは、グリッドの中心を目指した位置を読み取り、右側のステーションの実際の位置に基づいて LooKup をクリックすると、度がラジアンで修正されます。精度は非常に高いです。

# QRZ.COM XML アップロー ド



このサービスには **QRZ サブスクリプション (XML ルックアップ以上)** が必要です  
QRZ ログは、QRZ ログ データベースへの 2 種類のアップロードをサポートしています。  
1 つは、複数の qso ADIF レコード (最大 1000 レコード) を含む adif ファイルをアップ  
ロードすることです。

他の QSO は、QSO がロガーに記録されるとすぐにアップロードされます。

このインターフェイスを介した QSOS の削除または回復はサポートされていません。

レジストリ名、ID、キーは必須であり、qrz から入手できます。

各ログブックの設定ウィンドウにあるログブック。

現在使用しているログブックを [セットアップ] ウィンドウに追加する必要があります。



# QRZ 設定

QRZ For NewLogOSH

QRZ Manual XML Lookup | QRZ Logbook | QRZ WebSite | **QRZ Setup**

### QRZ LogBook Setup

Logbook Name      Logbook Book #      Logbook Key

Logbook Name	Logbook Book #	Logbook Key
IZ4OSH Logbook	10073	XXXXXXXXXX

<  >     

Enable QRZ Logbook usage

Always send qso to QRZ upon Logging.

Use QRZ XML Real Time Lookup instead of Hamlog


### QRZ Login Information

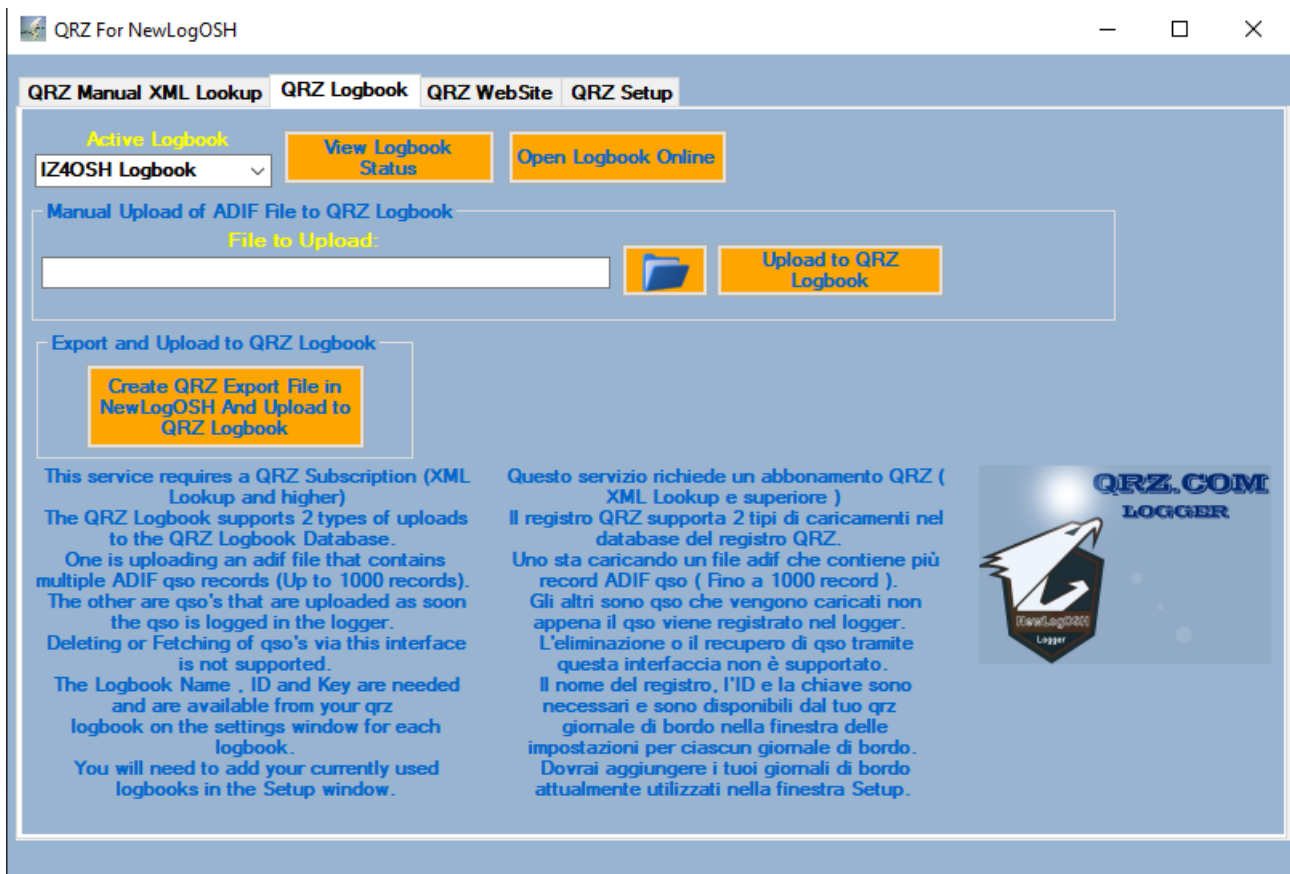
Username:

Password:

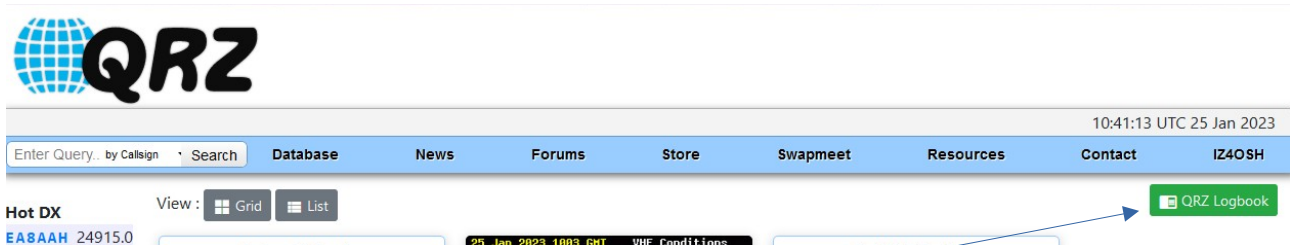
Nelle caselle seguenti inserisci il nome del tuo diario di bordo, il libro di bordo e la chiave del registro per ogni diario di bordo che desideri gestire tramite questa applicazione. Le informazioni richieste si trovano su QRZ.com nella sezione Impostazioni di ciascun registro che si desidera aggiungere. Per eliminare un LogBook dall'elenco: Evidenzia la riga del registro e premi Del Button.

In the boxes below enter your Logbook Name, Logbook Book# and Logbook Key for each Logbook you would like to manage thru this application. The required information is located on QRZ.com in the Settings section of each logbook you want to add. To delete a LogBook from the list - Highlight logbook row and press Del Button.





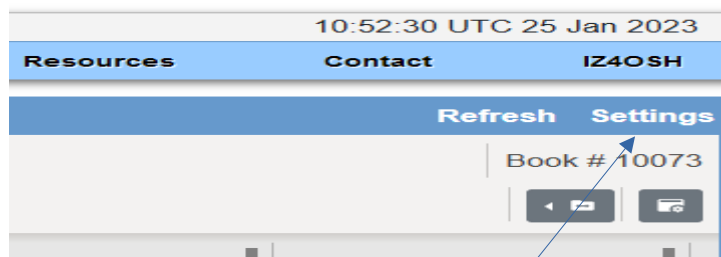
- 1: ブラウザを開いてログインします ([www.qrz.com](http://www.qrz.com))
- 2: (QRZ LOGBOOK) をクリックしてオンライン ログ設定にアクセスします。資格情報でログインするとすぐにホームに表示されます。
- 3: 見つかったボタンをクリックします (QRZ LOGBOOK)



4: 緑色のボタン

この時点で、qrz ログブックに自分がいることに気づきます。

- 5: (設定) と書かれている場所をクリックします

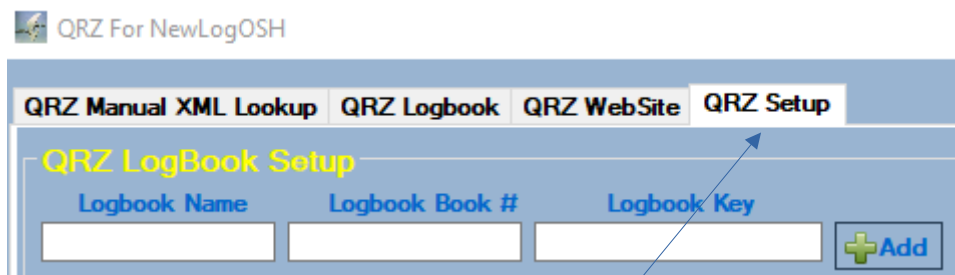


設定

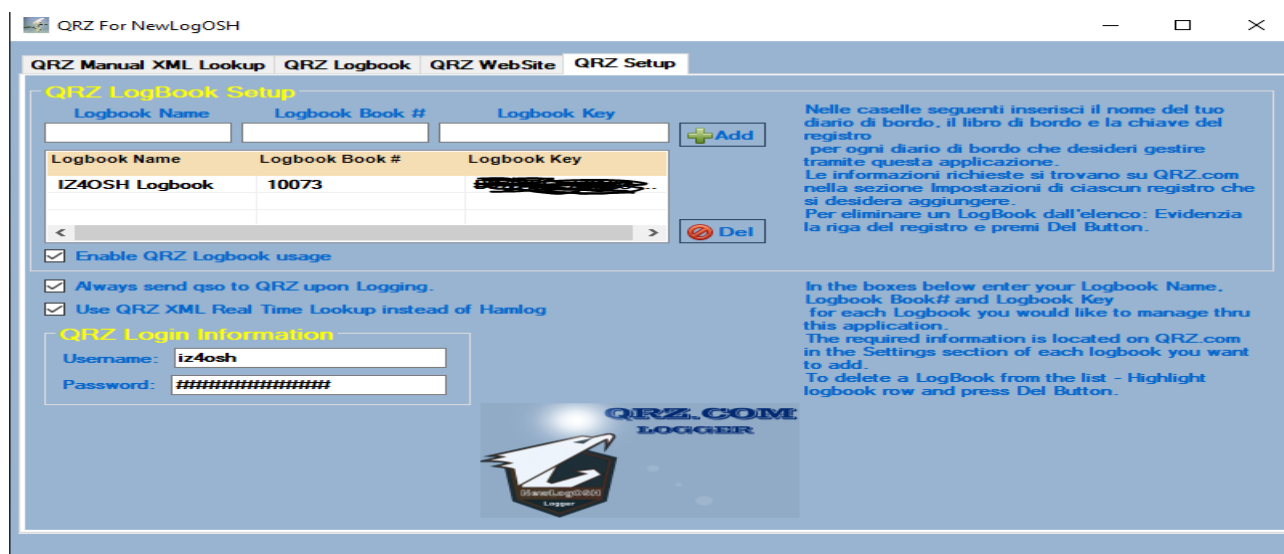
6: LogBook Info および QRZ LogBook API 設定ページが表示されます。

7: NewLogOSH を開き、トップ メニュー (オンライン ログ) から (QRZ) をクリックします。

qrz フォームを開き、設定に移動します ([QRZ セットアップ] をクリックします)。



QRZ セットアップ  
設定ページが開きます



下のボックスにログブックの名前、ログブック、レジストリ キーを入力します。

1: ログブック = ログブック名

2: ログブック = ログブックブック

3: キー = LogBook キー

次に、このデータの挿入に進みます。これを行うには、前に開いた qrz 設定ページで見つけた情報をコピーして貼り付けます。



ボックスに (Username と Password に qrz.com のログイン資格情報  
を入力します)

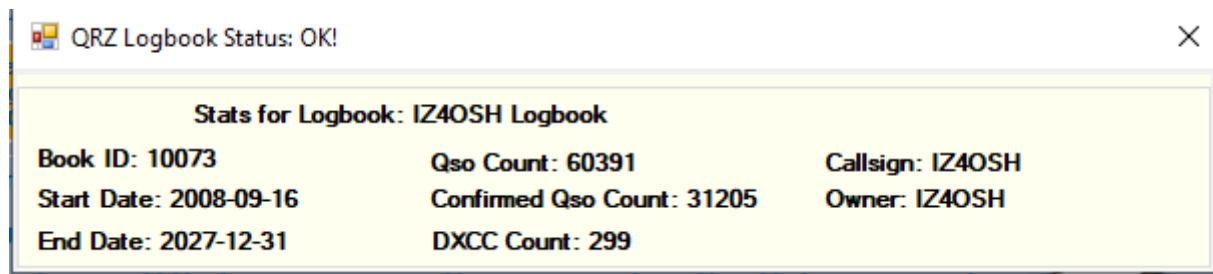
ここでフォームを閉じ、NewLogOSH を閉じてプログラムを再起動  
します。

情報のスペルが正しければ、プログラムを再度開き、qrz を開きま  
す。

qrz ログブックをクリックしてアクティブにする必要があります  
(アクティブ ログブック)

待ちます (2 秒後に (ログブックのステータスを表示) をクリックし  
ます)

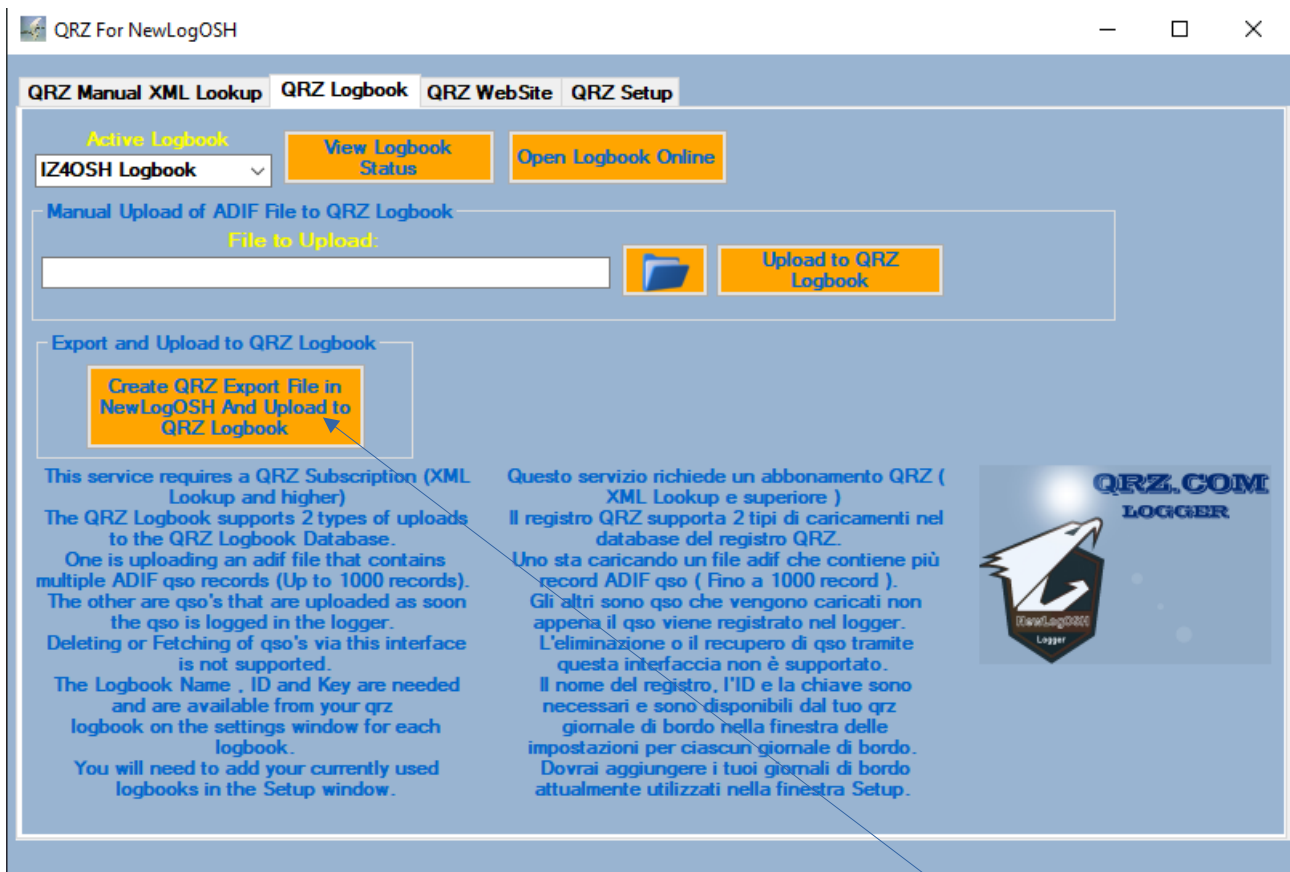
(QRZ がデータを NewLogOSH に送信するのに約 10 秒かかることがあります。この時点でプログラムを閉じて再起動することをお勧めします。すべてが成功すると、Qrz LogBook のステータスが次のように表示されます)



## QSO のアップロードプロセス

FT、Cw、Rtty、SSB、PskなどでQSOする場合

これにより QSO が登録され、プログラムはデータベース内にチェックマーク (Y) を自動的に追加します。これは、登録された連絡先を QRZ ログブックに送信する準備ができていることを意味します。その方法を見てみましょう:



レコードを自動的に送信するには (クリック: NewLogOSH で QRZ エクスポート ファイルを作成し、QRZ ログブックにアップロード)

このプロセスを実行すると、プログラムは QRZ に送信する必要があるレコードの数を表示します。これらのレコードが 1 つ以上すでに QRZ に存在する場合、これらのレコードは送信されません (これは、クロスチェックがリアルタイムで実行されるためです)。

送信プロセスの最後にボックスが開きます (結果の表示)





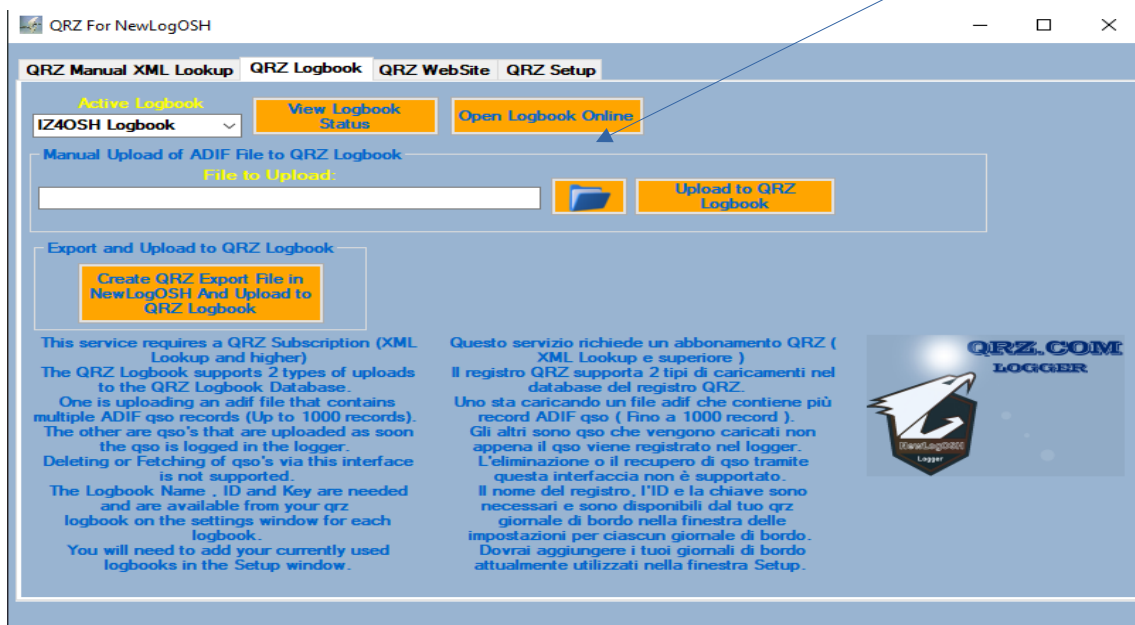
ボタンをクリックすると、送信されたレコードの数が表示されます

## 手動アップロードプロセス

場合によっては、数年前に実行されたレコードなど、特定の数のレコードを送信する必要がある場合は、次の手順を実行します。

NewLogOSH でロガーを開き、送信する必要がある QSO を選択し、トップメニューの LogOptions から (選択した QSO をエクスポート) をクリックし、エクスポート ファイルをデスクトップに保存します。 QRZ を開きます

このボタンで作成した ADI ファイルが配置されているパスを開きます



パスを選択したら、「QRZ ログブックをアップ

ロード」をクリックします。

この時点で、QSO は正常に送信されます。

**注意:** プログラムがインストールされたディレクトリに ADI ファイルを保存することをお勧めします。その中には既に作成されたディレクトリがあります (QRZ レポート)。

何らかの理由で QSO の送信中に PC の電源を切る必要がある場合は、プログラムのインストール ディレクトリ内で問題なく、この

ファイルは (QRZLogbook) と呼ばれるプログラムによって作成された ADI ファイル内にあり、送信されたレコードが表示されます。

Qrz モジュールについて説明したプロセスは、Lotw モジュールで使用されるものと同じです。

## プログラムの更新

Web ページへ: [https:// newlogosh logger.com/](https://newlogosh logger.com/)

[ダウンロード] セクションには、将来の Bulit を更新できるボタンがあります。

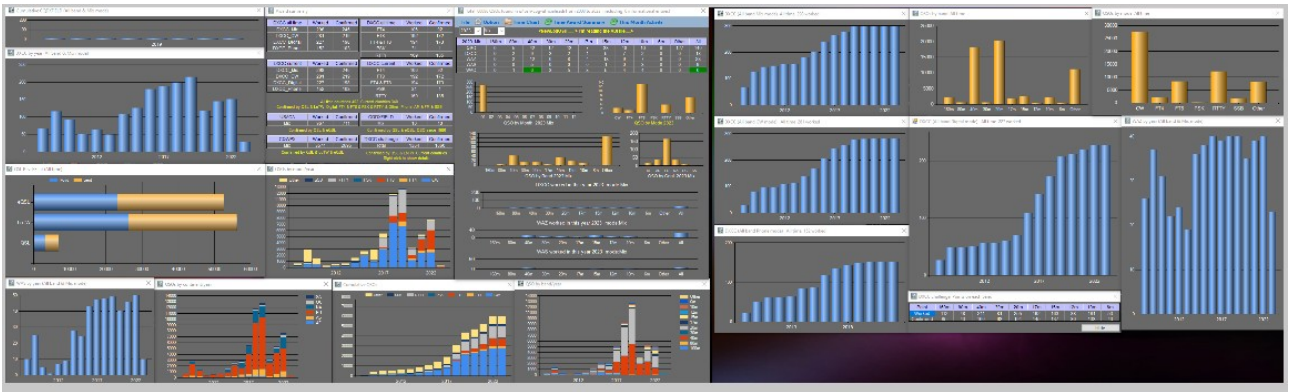
1 アップデートをダウンロードする

2 NewLogOSH\_full インストール プログラムが以前にインストールされていたのと同じディレクトリでインストールを実行します。

このプロセスでは、データや設定などを書き直す必要はありません。

(プログラムがインストールされたディレクトリには、セキュリティを強化するためにコピーを作成する必要がある 2 つの重要なファイル (newlog.db と settings) があります。この 2 つのファイルをデスクトップに保存すると、何か問題が発生した場合に確実に対処できます。ログと以前に実行された設定を復元できます)。

**新しい概要 QSO、DXCC アワード**



詳細を含む概要を開くには、上部にある **Logger** を開き、プログラムを開始するコマンドを実行します。

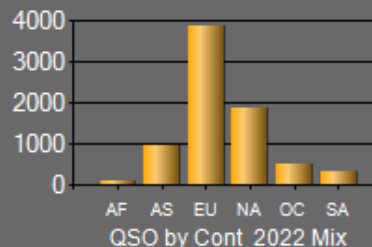
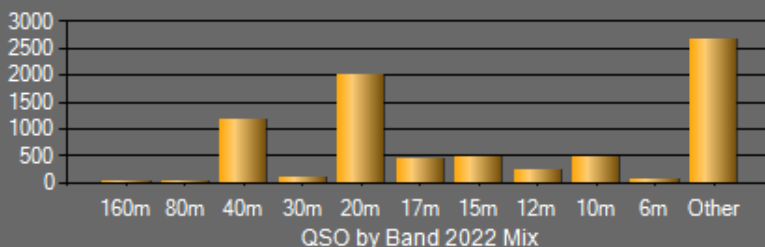
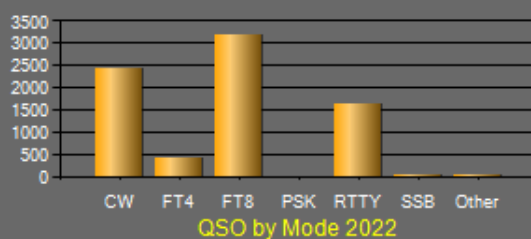
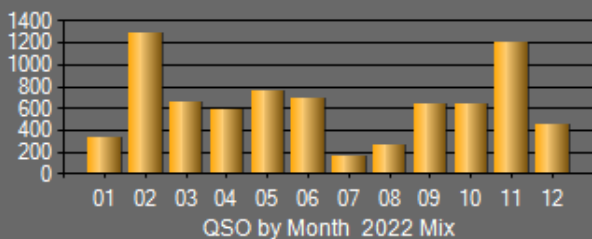
プログラムが開いたら、分析のために [ファイル] メニューから **ADI ファイル** を選択します。初めて要求されたときは 2 回要求され、その後プログラムは自動的に閉じて、選択されたファイルのパスを記録します。

これで目次を開始すると、次のように表示されます。

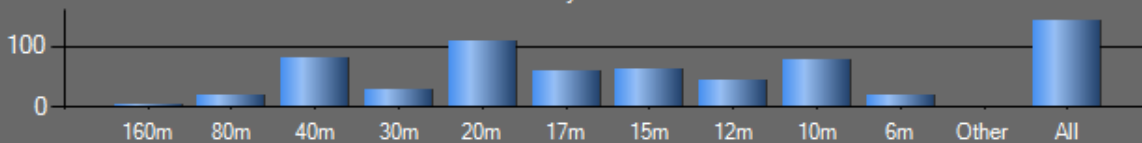
2022 Mix

<NewLogOSH ..... > I'm reading the ADI file.....>

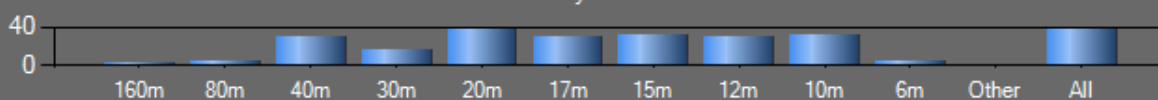
2022 Mix	160m	80m	40m	30m	20m	17m	15m	12m	10m	6m	Other	All
QSO	3	47	1157	104	2014	456	483	221	485	51	2646	5021
DXCC	2	19	82	29	109	59	61	45	78	18	0	143
WAZ	2	4	30	16	38	30	32	29	32	5	0	38
WAS	0	0	34	5	47	32	28	26	29	0	0	49
WAC	1	1	6	6	6	6	6	6	6	2	0	6



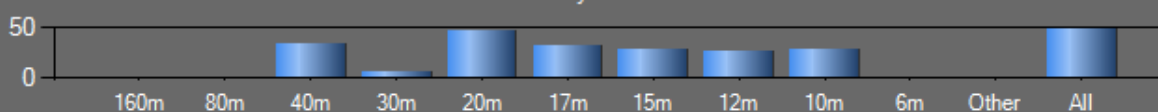
DXCC worked in this year 2022 mode:Mix



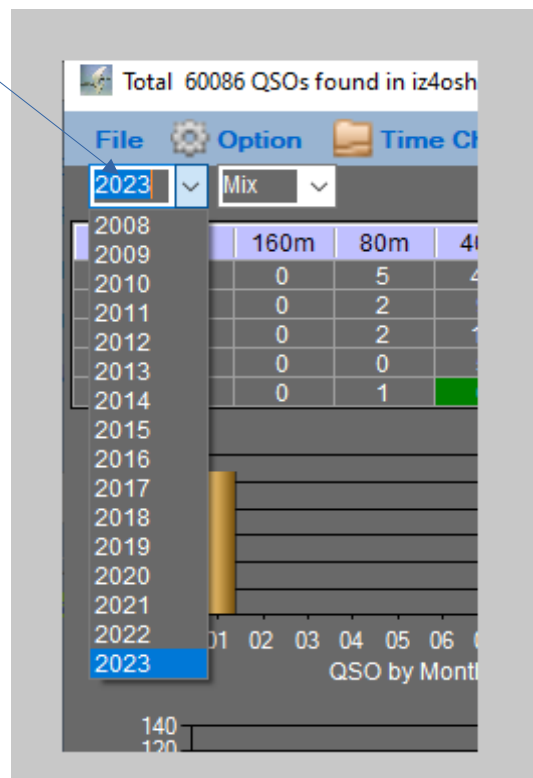
WAZ worked in this year 2022 mode:Mix



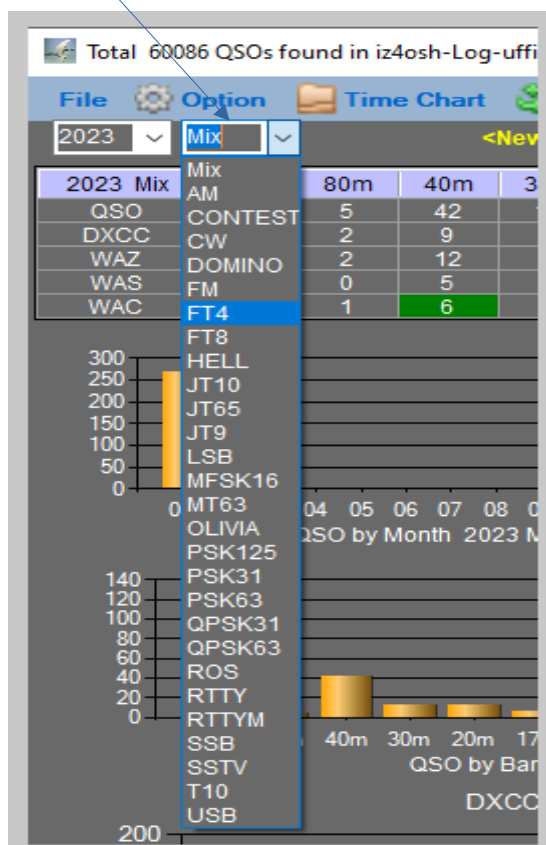
WAS worked in this year 2022 mode:Mix



強調表示されたメニューから表示したい年を選択します



検査したい動作モードを選択します

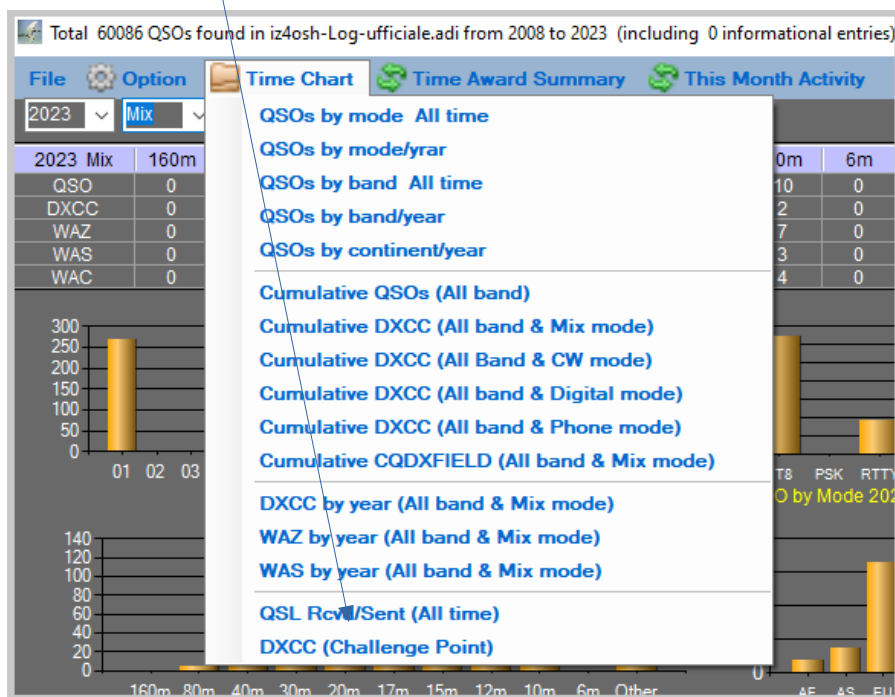


この時点で、プログラムは選択されたログ adi の分析を自律的に実行し、グラフで傾向を強調表示します。

Time Award Summary から、作業および確認された DXCC の全体的な傾向を表示することができます。

DXCC all time			Worked	Confirmed	DXCC all time			Worked	Confirmed
DXCC_Mix			298	246	FT4			106	92
DXCC_CW			281	219	FT8			192	172
DXCC_Digital			227	198	FT4 & FT8			194	173
DXCC_Phone			152	103	PSK			31	1
					RTTY			169	135
DXCC current			Worked	Confirmed	DXCC current			Worked	Confirmed
DXCC_Mix			298	246	FT4			106	92
DXCC_CW			281	219	FT8			192	172
DXCC_Digital			227	198	FT4 & FT8			194	173
DXCC_Phone			152	103	PSK			31	1
					RTTY			169	135
All time countries 402 Current countries 340 Confirmed by QSL & LoTW Digital: FT4 & FT8 & PSK & RTTY & Other Phone: AM & FM & SSB									
USACA			Worked	Confirmed	CQDXFIELD			Worked	Confirmed
Mix			967	711	Mix			10	10
Confirmed by QSL & eQSL					Confirmed by QSL & eQSL. QSO since 1980				
CQWPX			Worked	Confirmed	DXCC challenge			Worked	Confirmed
Mix			3574	2695	Total			1364	1060
Confirmed by QSL & LoTW & eQSL					Confirmed by QSL & LoTW Current countries Right click to show details				

DXCC チャレンジを有効にして詳細を表示するには、上部のタイム チャートをクリックし、メニューから (DXCC チャレンジ ポイント) を選択します。

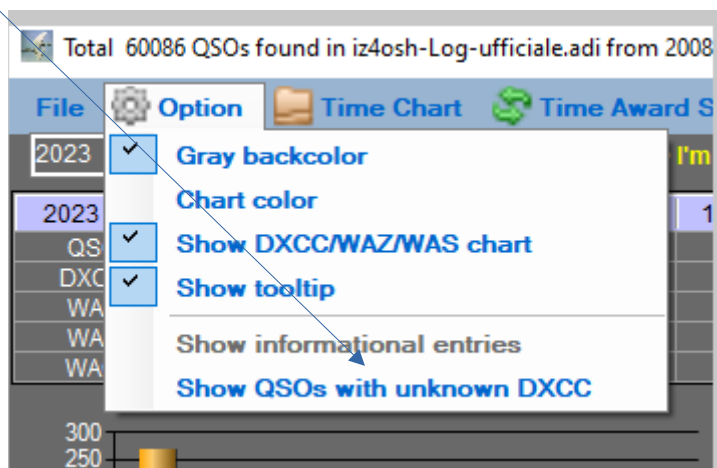


DXCC challenge Points on each band

Point	160m	80m	40m	30m	20m	17m	15m	12m	10m	6m
Worked	112	48	211	81	255	192	163	88	161	53
Confirmed	65	43	160	63	191	145	137	80	133	43

Hide

ログに存在するエラーを表示するには、オプション メニューで (不明な DXCC との QSO を表示) を選択します。





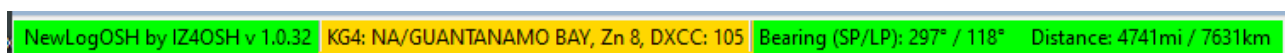
この情報ウィンドウが開きます。



Year-Month	Call	Mode	Band	DXCC
2009-11	KG4KGL	PSK31	40m	000
2009-12	KG4KGL	PSK31	40m	000
2009-12	KG4JYB	PSK31	40m	000
2010-01	IQ3GA/I	CW	160m	000
2014-02	RM22MM	PSK31	40m	000
2014-02	RC22BN	PSK125	15m	000
2014-03	RO22AU	SSB	10m	000
2014-03	TX6G	CW	10m	000
2014-03	R2014I	CW	20m	000

ご覧のとおり、上の画像では、連絡先から識別番号 (DXCC) が欠落しています。これらのレコードを修正するには、ロガーを開き、ここにリストされているレコードの一致を検索し、不足している **DXCC** を入力します。

この問題は、dx ステーションが QSO を確認したことがない場合、または QSO が重複している場合に発生する可能性があります。どの dxcc が dx ステーションに属しているかを理解するには、NewLogOSH メイン パネルから呼び出しを作成し、**LooKup** を実行します。この時点で、下のバーに、ロガー内に書き込まれて保存される dxcc 番号が表示されます。

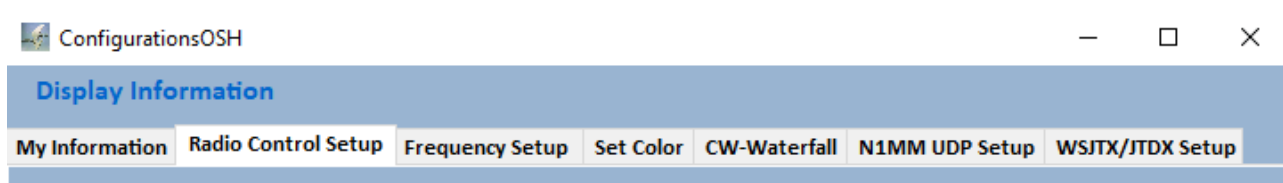


NewLogOSH by IZ4OSH v 1.0.32 KG4: NA/GUANTANAMO BAY, Zn 8, DXCC: 105 Bearing (SP/LP): 297° / 118° Distance: 4741mi / 7631km

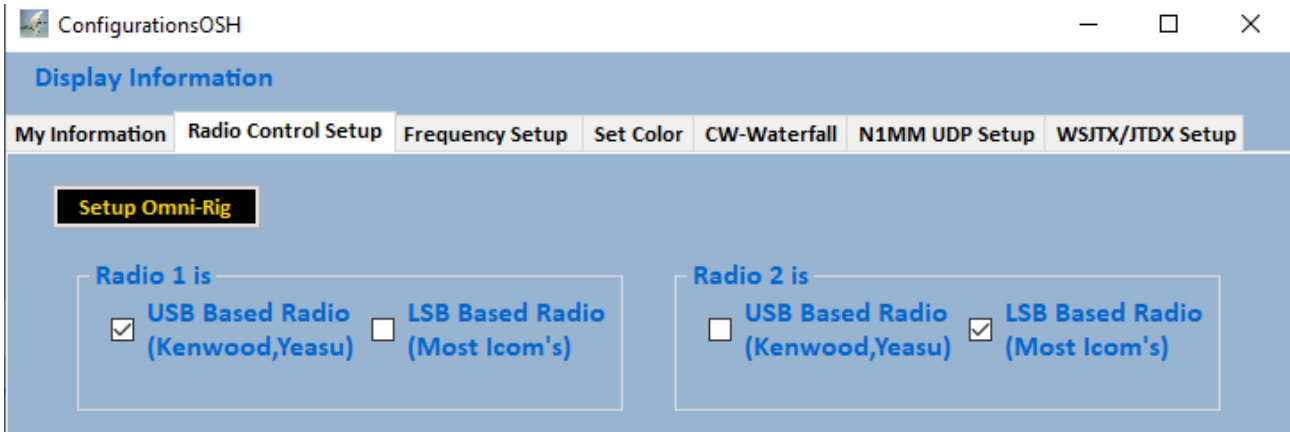
DXCC 拡張子

バージョン 10.043.0 からはいくつかの点が変更され、コンピューター化されたパネルがセットアップ メニュー内に追加されました。

セットアップウィンドウ:



ここにはプログラムメイトのほとんどの設定があります



## 無線とセットアップ

旧世代の無線は、最新の無線とは異なるプロトコルを使用します。場合によっては、Rtty または Cw モードでこれら 2つのモードを実行すると、RTX は、上記のボックスのいずれかをオンにすることで、それらを WC-R または PARTY-R として認識します。RTX は、モードが正しく実行します。

## 周波数設定

Band	Mode	LowFreq	HighFreq	Report	RadioMode
70	FM	442000	450000	59	FM
70	SSB	435000	438000	59	USB
70	FT8	432174	432177	599	USB
70	FT4	432065	432070	599	USB
70	CW	432000	432125	599	CW
2	FT8	144174	144177	599	USB
2	FT4	144170	144173	599	USB
2	SSB	144100	144300	59	USB
2	CW	144000	144100	599	CW
4	SSB	70150	70250	59	USB

Band: 70    Mode: FM    Low Frequency: 442000    High Frequency: 450000    Report: 59    Radio Mode: FM

Buttons: Save, Delete, Add New

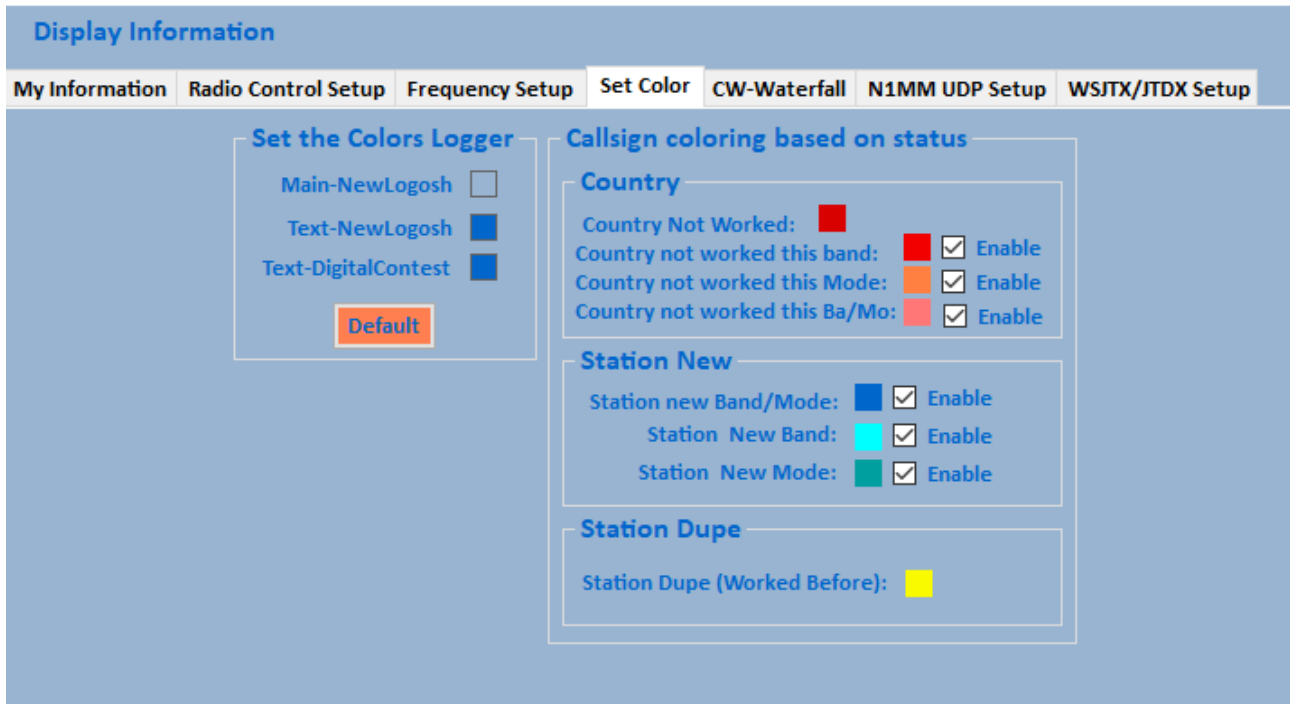
周波数パネルは、特定の動作モードで送信が占有する帯域幅を決定するために使用されます。例として FT モードを考えてみましょう。バンド プレーンの例で確立された帯域内です: (20m、14074.0 FT8 モード) ここではテーブルに最低周波数と最高周波数を挿入するだけで十分です。この場合は 14.074 になります。どちらの場合も.0 ですが、これは何を意味しますか? つまり、帯域のその部分に到着するとすぐに RTX の VFO をオンにすると、RTX はデジタルモード ft8 または USB に切り替わり、NewLogOSH のメイン パネルでプログラムがすでに設定されていることがわかります。この操作は開始されており、NewLogOSH は、DigitalWays メニューに移動して Ruter ft を起動するのを待っているだけです。

### 注意

FT モードで dxSpedition に接続しようとしている場合、サンプル周波数 (14.090.0) + dxSpedition が通常使用するスプリットを挿入する必要があります。この場合、より高い値を書き込む必要があります。周波数 (14.093.0)。この場合、ステーションを接続するときに何度も F/H で動作する dxSpedition により、1 キロサイクルのメニューでも分割できるため、サンプル周波数の正しいエントリは (14.089.0-14.093.0) になります。この手順を実行しないと、RTX が送信時に分割に切り替わる際に発光モードが変更される可能性があります。上記の説明はすべての動作モードに当てはまります。

頻度テーブルを設定した後、それをアーカイブに保存できるようになります。

## カラーセット



1. ここでは、NewLogOSH、Telnet の色をカスタマイズできます。これらは、データベースなどにすでに登録されているステーションを決定する色です。dxcc に特定の色を選択すると、それがクラスターに表示されるか、メイン パネルに呼び出しを書き込むとすぐに、その領域のステータスが表示されます。(詳細は、DxccLookup を開くと表示されます)。

DXCCLookup for Logger NewLogOSH

WESTERN KIRIBATI - 0

Mode	160M	80M	60M	40M	30M	20M	17M	15M	12M	10M	6M	2M	70CM
AM													
CONTESTI													
CW	X	X		X		X	X	X					
DOMINO													
FM													
FT4						X							
FT8							X						
HELL													
JT10													
JT65											X		
JT9													
MFSK													
MFSK16													
MT63													
OLIVIA													
PSK													
PSK125													
PSK31						X							
PSK63													
QPSK31													
QPSK63													
ROS													
RTTY				X		X		X					
RTTYM													
SSB						X							
SSTV													
T10													

この機能はコンテキストメニューからアクティブ化され、その後 Telnet コールをクリックするか、NewLogOSH のメインにコールを書き込むと、DxccLookup パネルが表示され、特定の Dxcc が接続されているバンドが表示されます。X の 1 つをクリックすると、その dxcc の一部である接続されたステーションの完全なリストが表示されます。

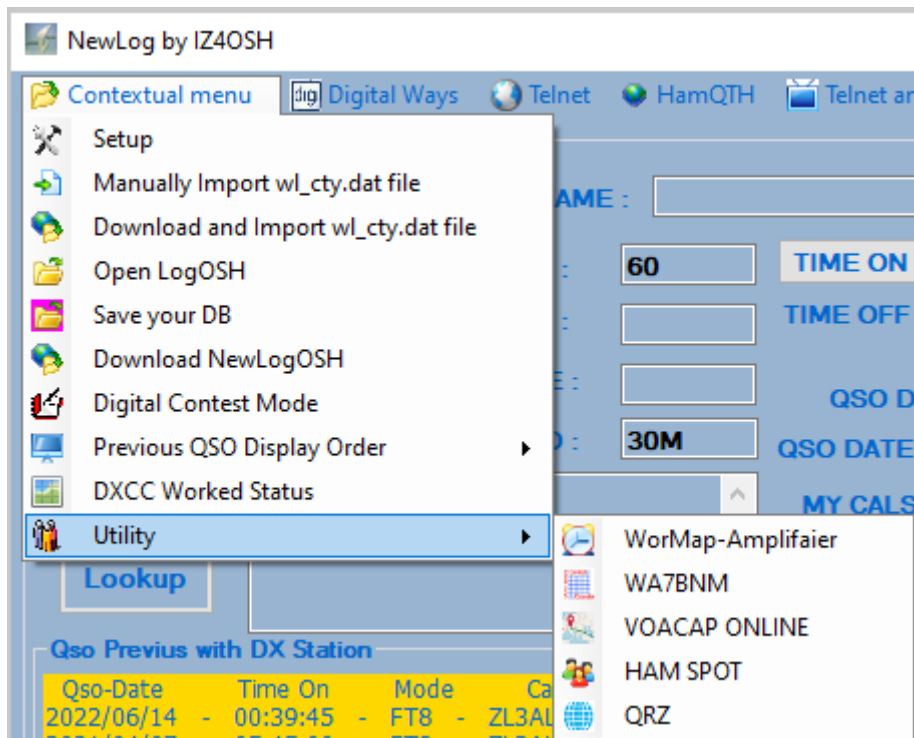
Gso_Date	Time On	Callsign	Mode	Band	Frequency
20100102	001025	ZL2RS	CW	40M	7.005000
20100102	001000	ZL2RS	CW	40M	7.032140
20181104	073103	ZL3RN	CW	40M	7.030110
20181124	185010	ZM4T	CW	40M	7.050100
20181127	175627	ZL/DL1MGB	CW	40M	7.025500
20181216	072327	ZL3JT	CW	40M	7.021000
20181216	073655	ZL2BCO	CW	40M	7.021000
20181124	185000	ZM4T	CW	40M	7.047000
20181127	175600	ZL/DL1MGB	CW	40M	7.018030
20181216	072300	ZL3JT	CW	40M	7.021000
20181216	073600	ZL2BCO	CW	40M	7.021000
20190309	191624	ZL4IR	CW	40M	7.020000
20190526	083608	ZL2AGY	CW	40M	7.038670
20190810	024703	ZL2X	CW	40M	7.023500
20191012	182046	ZL3VZ	CW	40M	7.029440
20191012	182702	ZL3PAH	CW	40M	7.029440
20191012	194556	ZL4YY	CW	40M	7.012000
20191103	000420	ZL4NR	CW	40M	7.029000
20191103	001429	ZL4YY	CW	40M	7.029000
20191117	070247	ZL1BQD	CW	40M	7.024000
20191123	044008	ZL2IFB	CW	40M	7.040990
20191124	064326	ZL3RIK	CW	40M	7.052290
20190224	060941	ZL6HQ	CW	40M	7.049095
20190224	062009	ZL2UO	CW	40M	7.049095
20201128	131303	ZM1M	CW	40M	7.046000
20201129	061023	ZL10GX	CW	40M	7.041990
20210418	051428	ZL3P	CW	40M	7.015770
20210529	103337	ZL2OK	CW	40M	7.015000
20211128	062435	ZM1A	CW	40M	7.029050

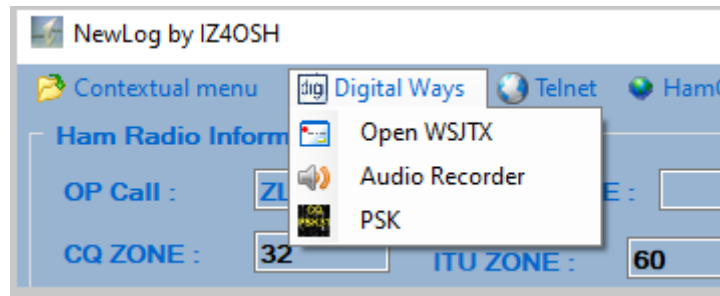
Mode	160M	80M	60M	40M	30M	20M	17M	15M	12M	10M	6M	2M	70CM
AM													
CONTESTI													
CW	X			X	X	X	X	X	X	X			
DOMINO													
FM													
FT4						X							
FT8				X	X	X	X	X	X	X			
HELL													
JT10													
JT65				X		X							
JT9				X									
MFSK													
MFSK16													
MT63													
OLIVIA													
PSK													
PSK125													
PSK31				X	X	X							
PSK63					X	X		X					
QPSK31													
QPSK63													
ROS													
RTTY				X		X		X					
RTTYM													
SSB						X							
SSTV													
T10													

上記の場合、dxcc170 40m CW の状態です。

コンテキストメニュー内がユーティリティメニューになりました

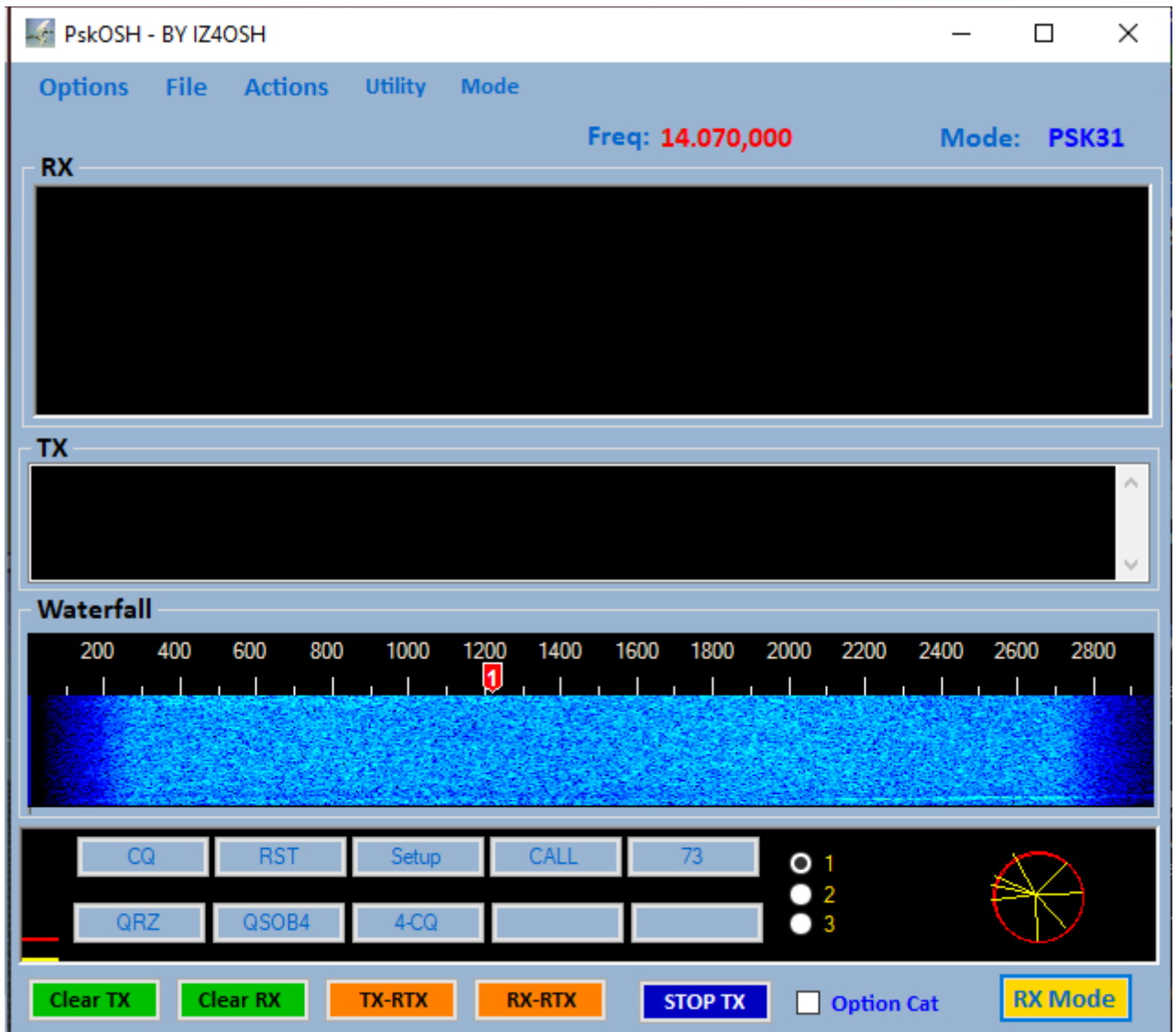


## デジタル的な方法



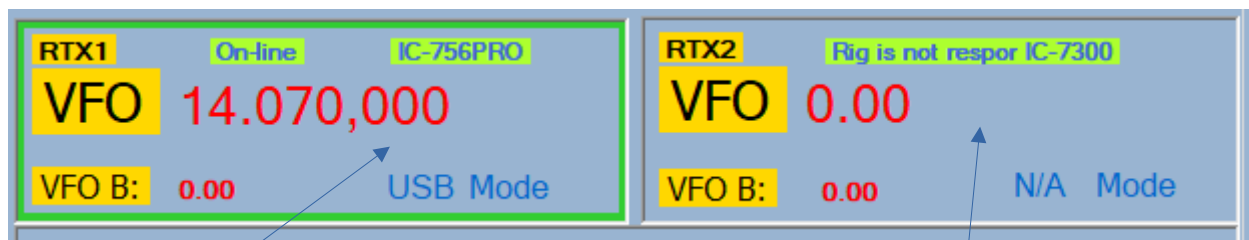
## PSK モードを追加

通  
話  
を  
ク



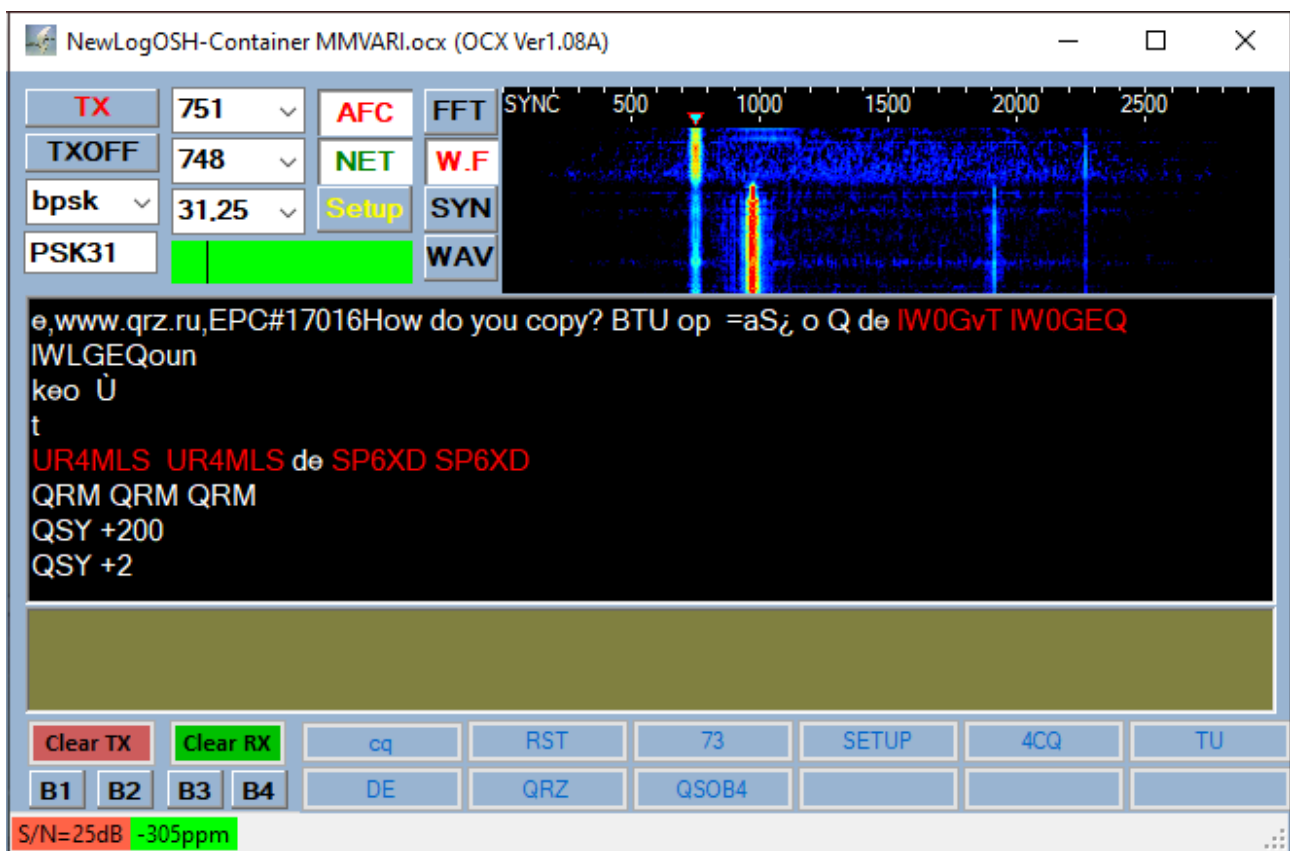


リックすると、NewLogOSH メイン パネルにリアルタイムの DX ステーション データが表示されます。注意: QSO を記録する前に、RTX フォーカスがアクティブであることを必ず確認してください。フォーカスがアクティブでない場合、動作周波数なしで QSO が記録されるため、記録を LoTw、Qrz、Eqsl に送信することができなくなります。



フォーカスオン フォーカスオフ

## モジュール mmvari

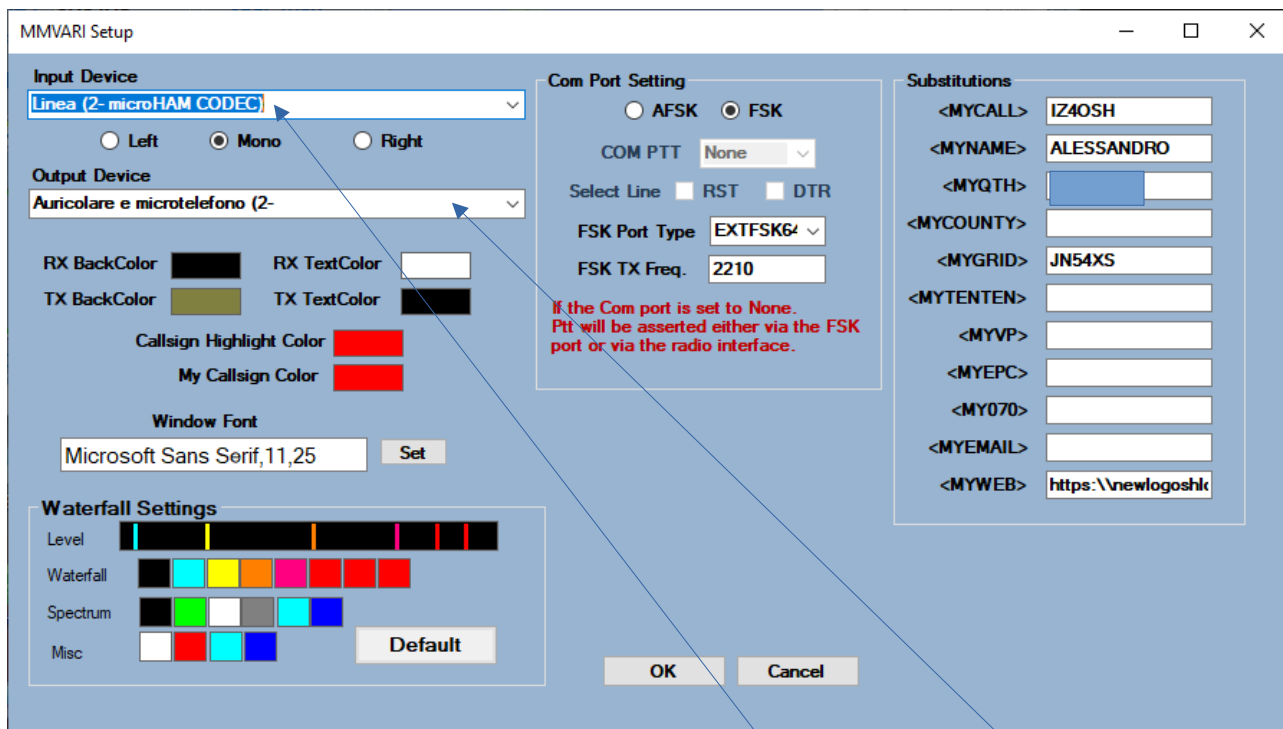


Mmvari モジュールはすべての機能が再プログラムされ、大幅に修正されました。発光モードは、Bpsk31、Psk62、PSK125、PSK250、RTTY\_L、RTTY

\_U、MFSK4\_L MFSK4\_U、QPSK31\_L、QPSK31\_U、GMSK31、FSK31、FSK31\_W です。

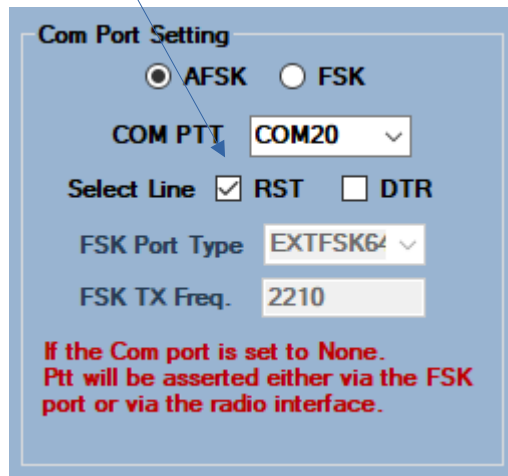
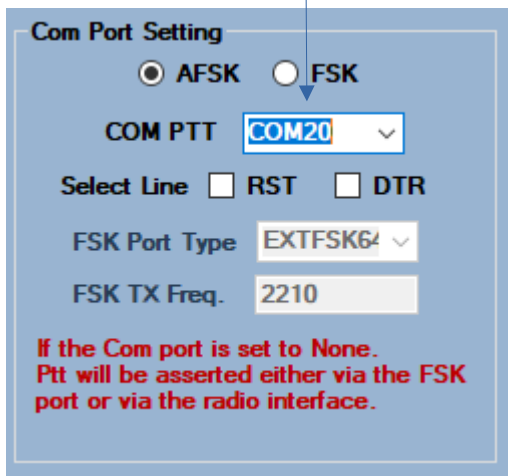
このモジュールを動作させるには、上部の (SETUP) ボタンをクリックします。

設定フォームが開きます



このモジュールでは、オーディオ入力チャンネルとオーディオ出力チャンネルが選択されます。

PSK 動作には PTT COM ポートと RST または DTR ラインを選択する必要があります

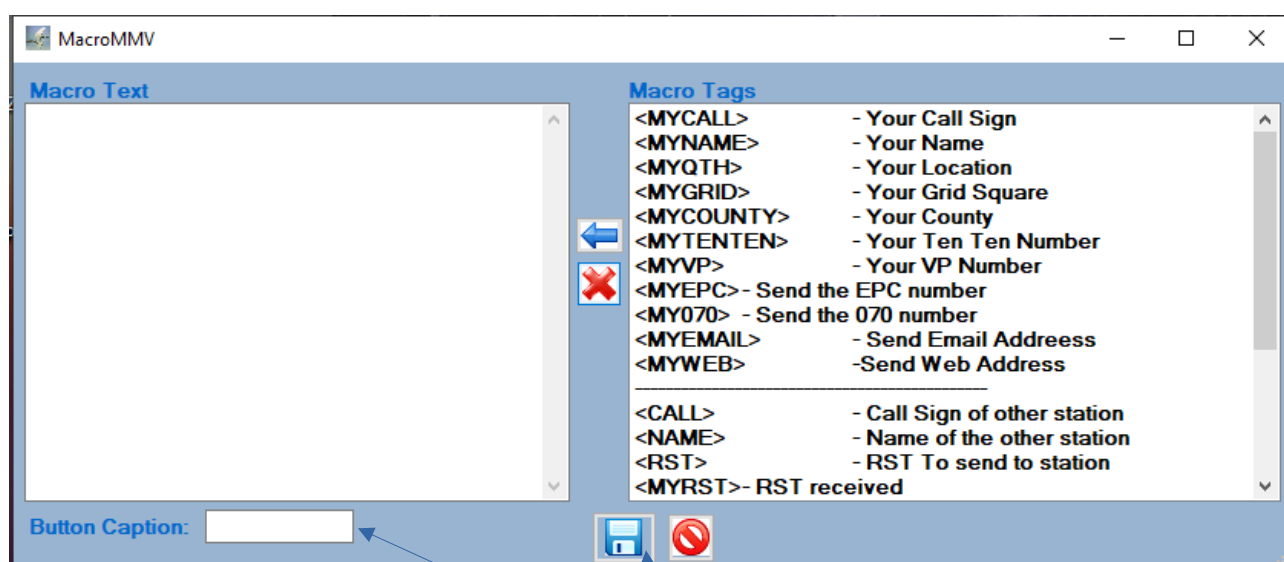


RTTY AFSK モードを設定するには、RTTY を USB または LSB モードで実行し、上記の AFSK 設定を実行します。

注: Rtty ssb 方法での実行は、耳で Rtty FSK を実行するのとは異なり、あまり気づきませんが、長距離では違いが非常に顕著であるため、可能な限り常に FSK を使用することをお勧めします。

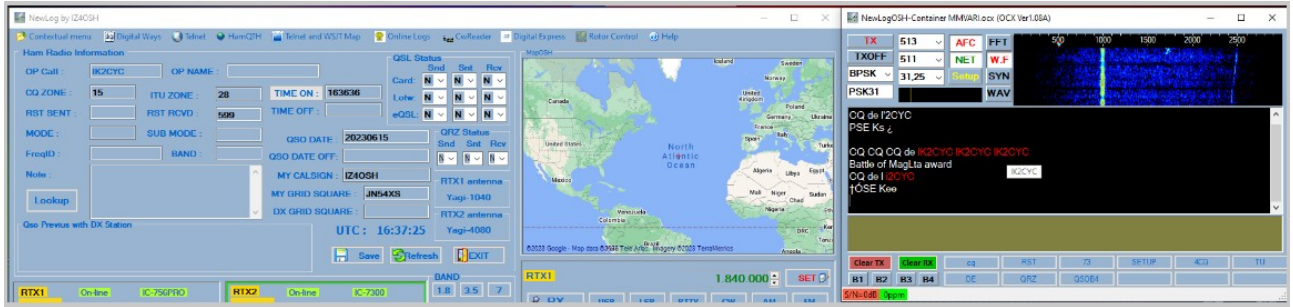
置換テーブルには、マクロ命令をコンパイルするために必要な情報が含まれます。

## マクロのコンパイル



MMVARI のメイン パネルから、設定したいボタンに対応するマクロ上で右クリックします。送信に必要なデータとヘッダーの入力が完了すると、マクロ フォームが開きます。ヘッダーには [保存] ボタンをクリックする必要があります。

MMV RX ウィンドウで CALL をクリックすると、その通話は Main に送信されます。アクティブなフォーカスがあることを確認してください。この時点で QSO が終了しました。[保存] をクリックして QSO を記録できます。



注意: 登録後に帯域周波数などのデータが欠落している場合は、設定された Rtx へのフォーカスがアクティブではなかったことを意味します。

私は感謝したい

Rick N2amg、Tom N1mm、Alex VA3NEA、Aki Ja1nlx、Jeff N7YG  
73 ALE IZ4OSH